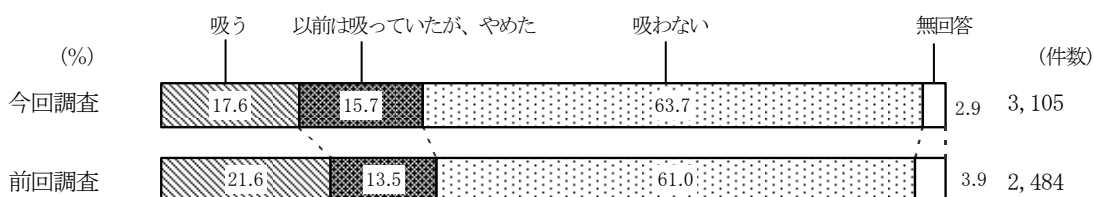


### 37 喫煙の状況

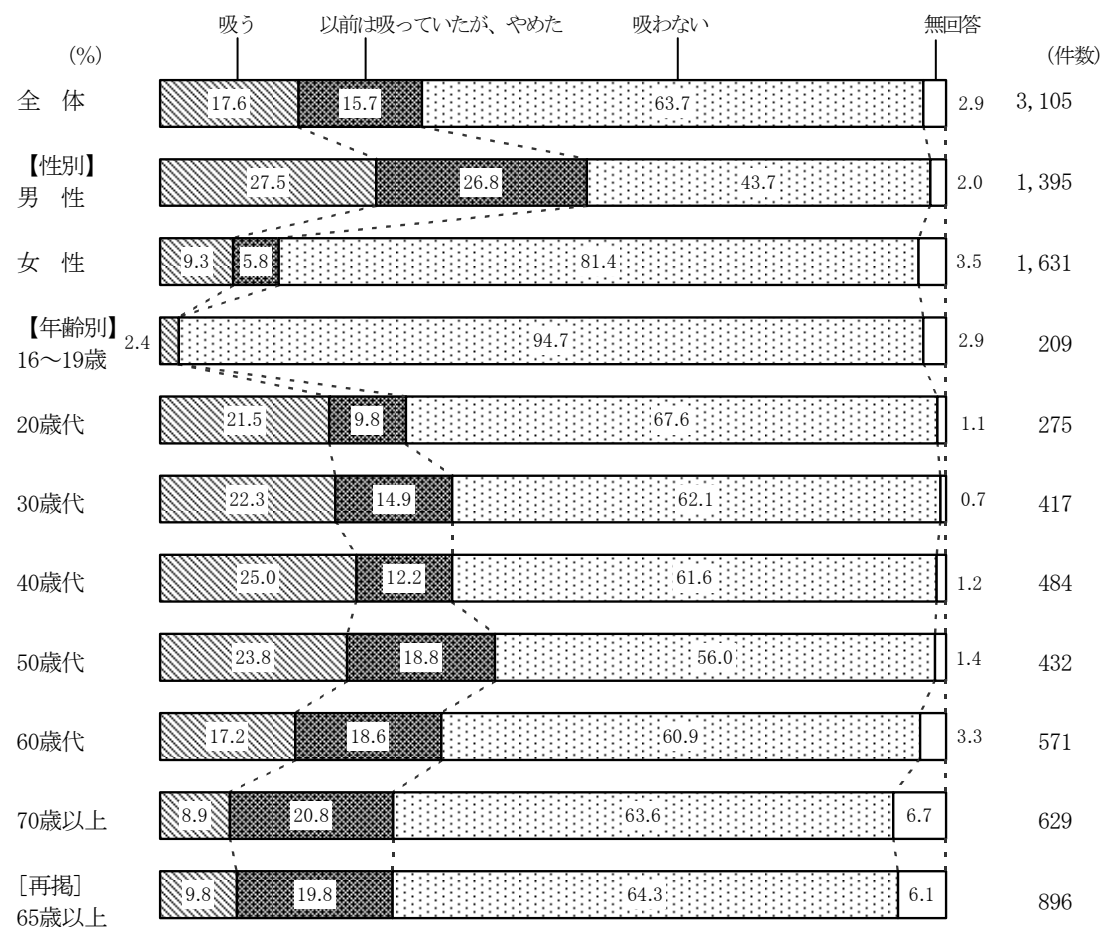
問28 あなたは、たばこを吸いますか。(1つだけ)

- 喫煙状況についてたずねたところ、たばこを「吸う」人は17.6%で、およそ5.7人に1人の割合となっている(16~19歳を含む)。
- 前回調査と比較すると、「吸う」人は、前回調査の21.6%から、今回調査は17.6%と4ポイント減少している。
- 性別で見ると、喫煙率(たばこを吸う人の割合)は、男性が27.5%でおよそ3.6人に1人、女性が9.3%でおよそ10.8人に1人の割合となっている。
- 年齢別で見ると、喫煙率は40歳代と50歳代で高くなっている。また、「以前は吸っていたがやめた」人は、70歳以上(20.8%)で高くなっている。

問28 喫煙の状況(前回調査との比較)

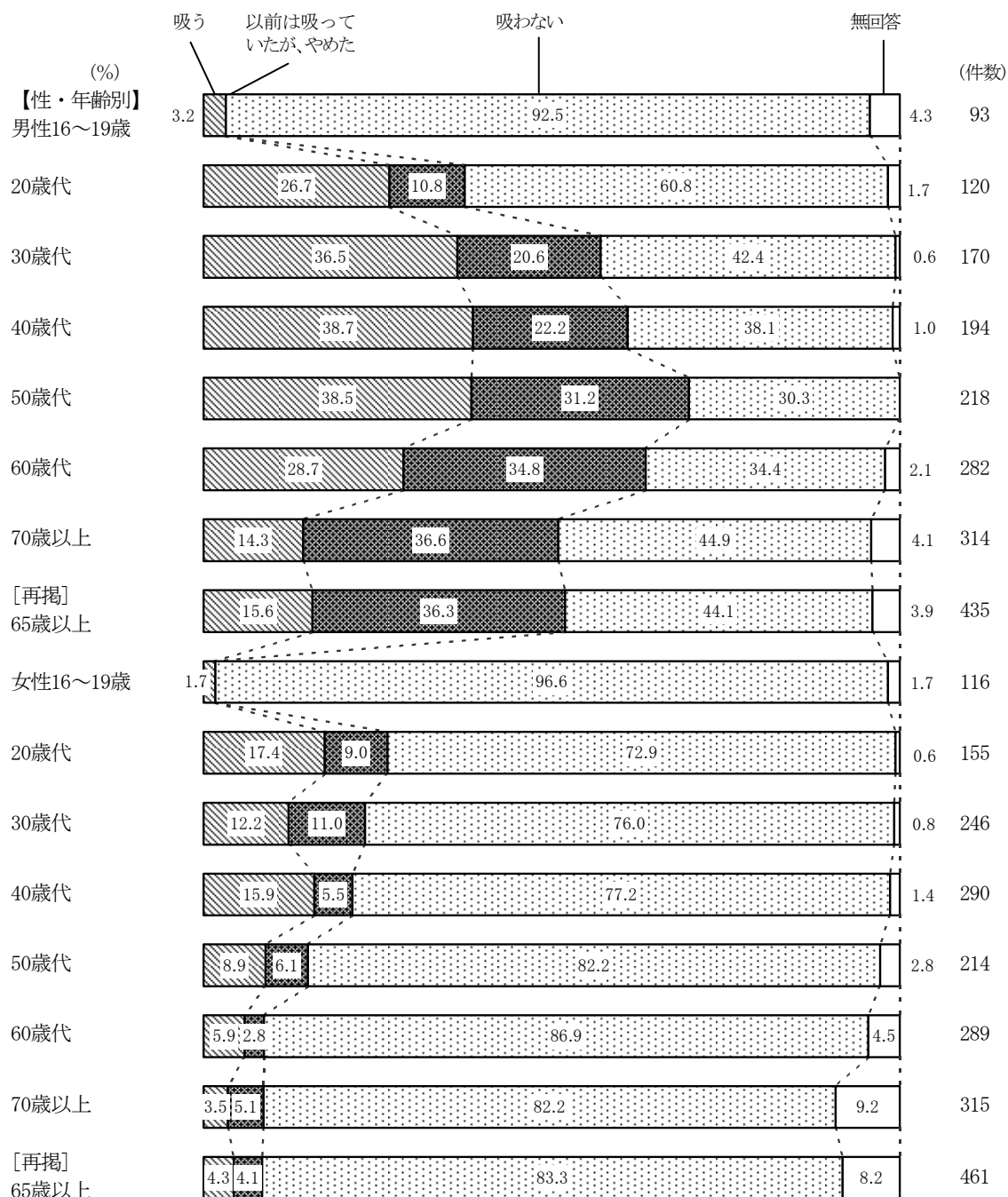


問28 喫煙の状況(全体・性別・年齢別)



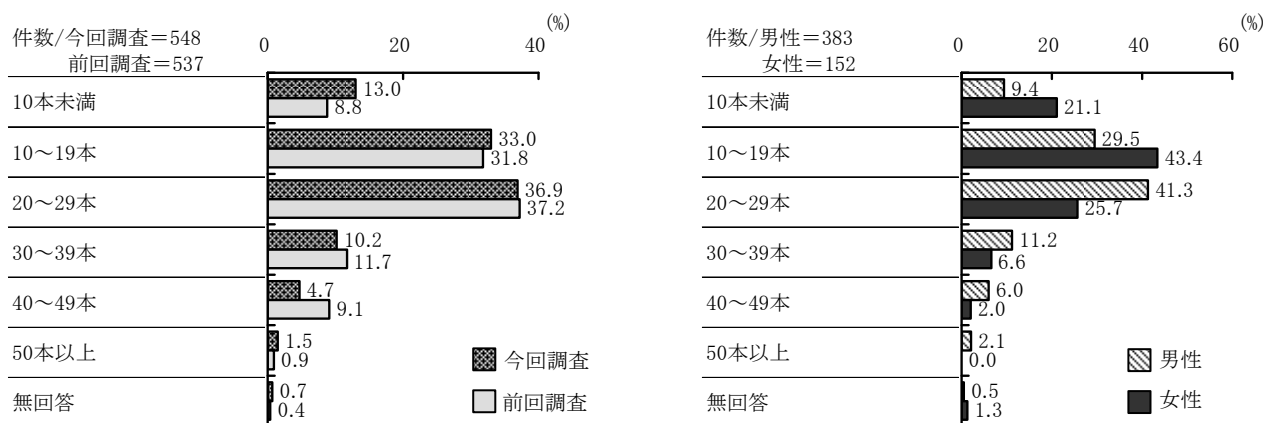
- 性・年齢別でみると、男性の喫煙率は、30歳代から50歳代で3割台、20歳代と60歳代で2割台となっている。女性の喫煙率は、20歳代から40歳代で1割台となっている。また、男女ともに40歳代以降は年齢が高くなるほど、喫煙率が減少している。

問28 喫煙の状況（性・年齢別）



- 喫煙本数は、「20～29本」が36.9%で最も高く、次いで「10～19本」が33.0%で続いている。また、平均喫煙本数は、18.2本となっている。
- 前回調査と比較すると、平均喫煙本数は、前回調査の19.8本から今回調査は18.2本と減少している。
- 性別で見ると、喫煙本数は、男性では「20～29本」が最も高く、女性では「10～19本」が最も高くなっている。平均喫煙本数は、男性が19.7本、女性が14.4本となっている。
- 年齢別で見ると、平均喫煙本数は、60歳代が20.7本で最も多くなっている。

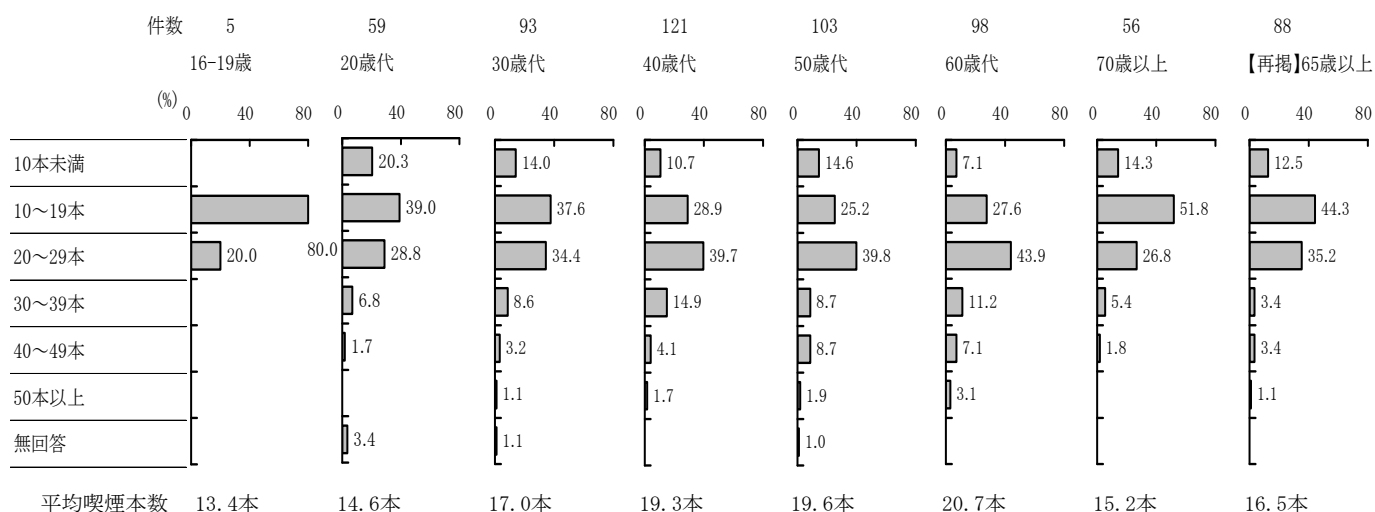
### 問28 喫煙本数（全体・性別）



平均喫煙本数 今回調査18.2本 前回調査19.8本

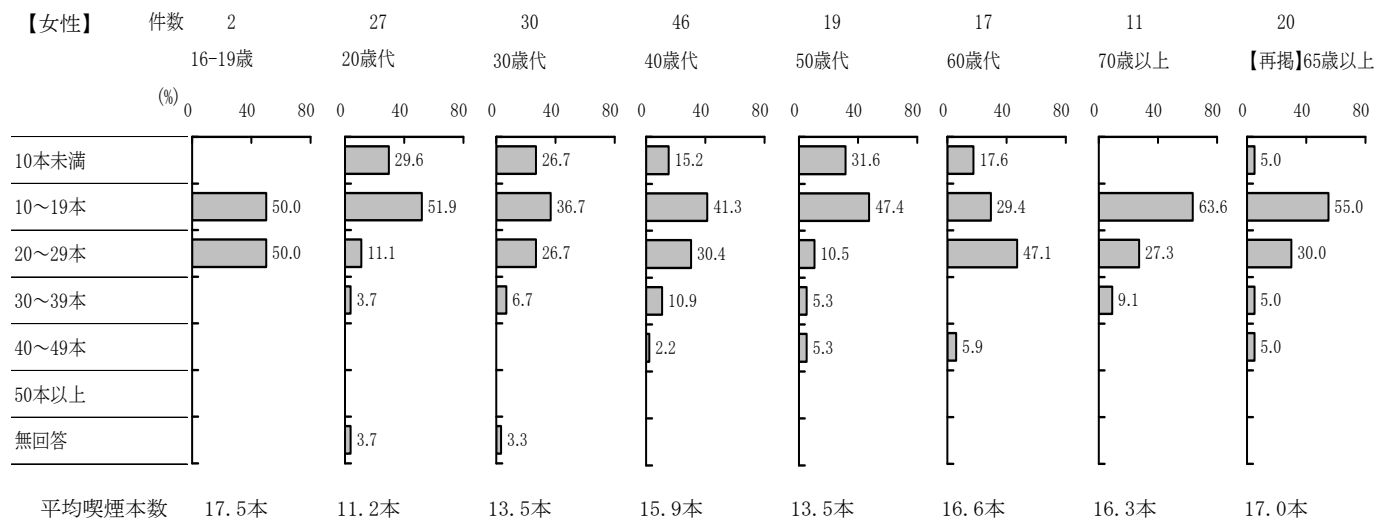
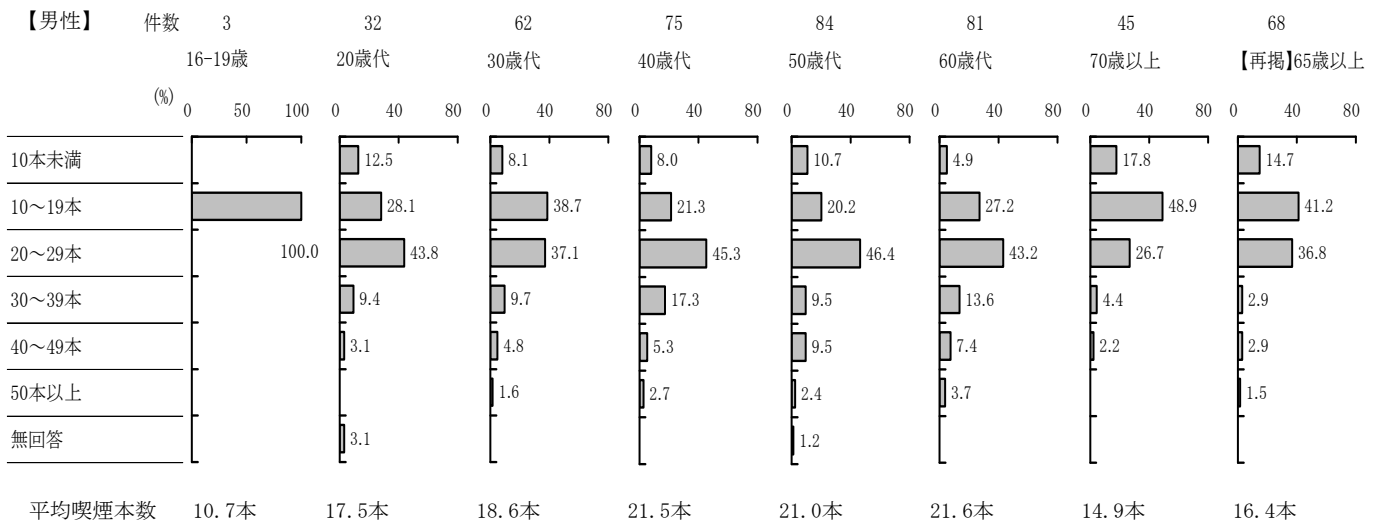
平均喫煙本数 男性19.7本 女性14.4本

### 問28 喫煙本数（年齢別）



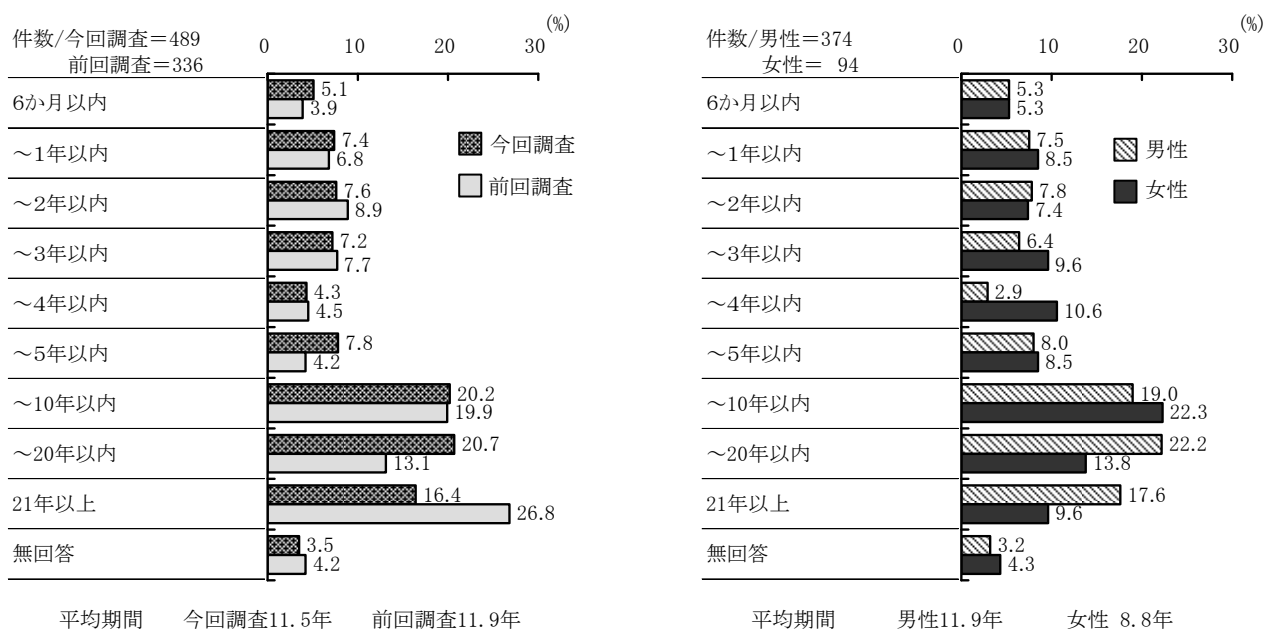
- 性・年齢別で20歳以上の平均喫煙本数をみると、男性では40歳代から60歳代で1日20本以上となっており、なかでも60歳代が21.6本で最も多くなっている。女性では60歳代が16.6本で最も多くなっている。(16～19歳を除く)

問28 喫煙本数（性・年齢別）

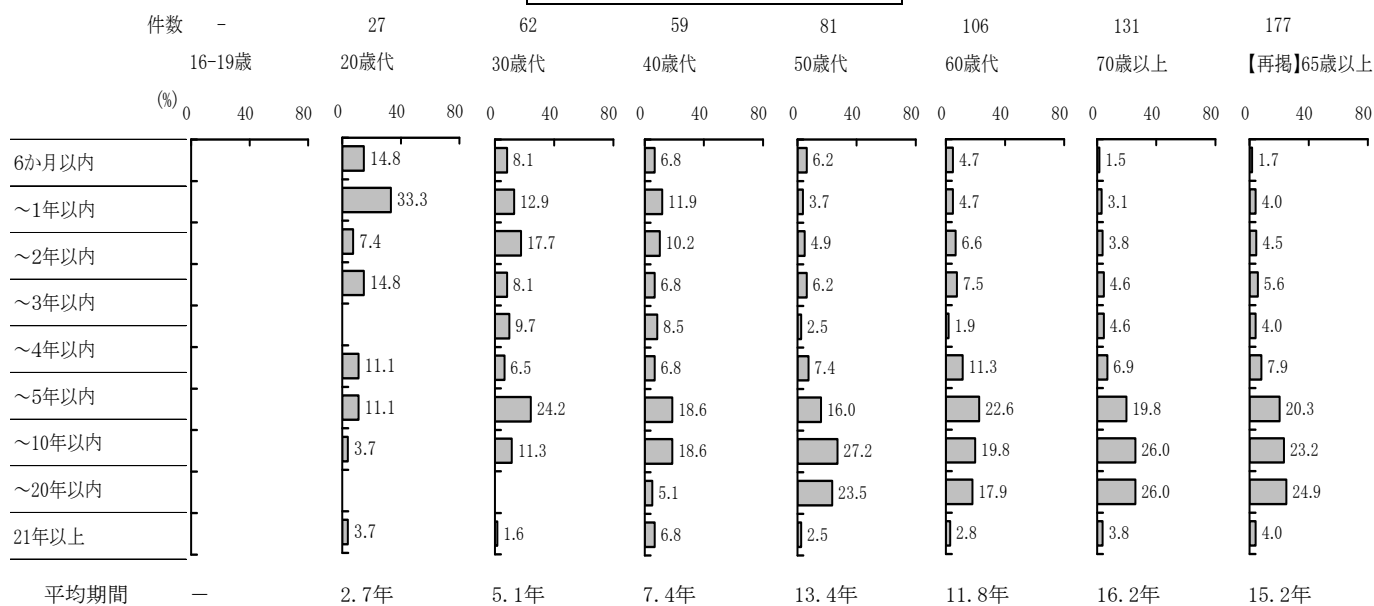


- 以前たばこを吸っていた人に、たばこをやめてからの期間をたずねたところ、「～20年以内」(20.7%)、「～10年以内」(20.2%)の割合が高く、平均期間は11.5年となっている。
- 前回調査と比較すると、たばこをやめてからの平均期間は、前回調査の11.9年から今回調査は11.5年と若干減少している。
- 性別で見ると、たばこをやめてからの平均期間は、男性が11.9年、女性が8.8年となっている。
- 年齢別で見ると、たばこをやめてからの平均期間は、50歳代以上では10年以上となっており、70歳以上が16.2年で最も長くなっている。

問28 禁煙期間（全体・性別）



問28 禁煙期間（年齢別）



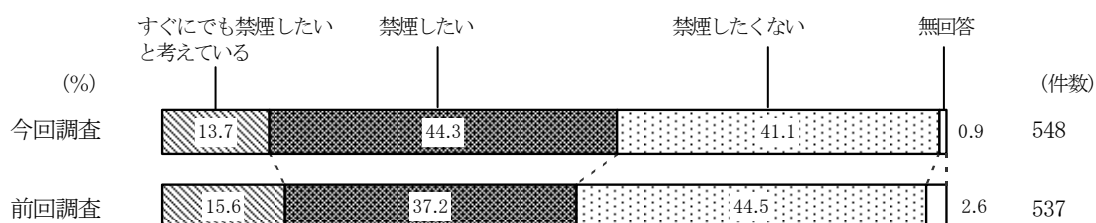
### 38 禁煙の意向

<問28で1と答えた方にお尋ねします。>

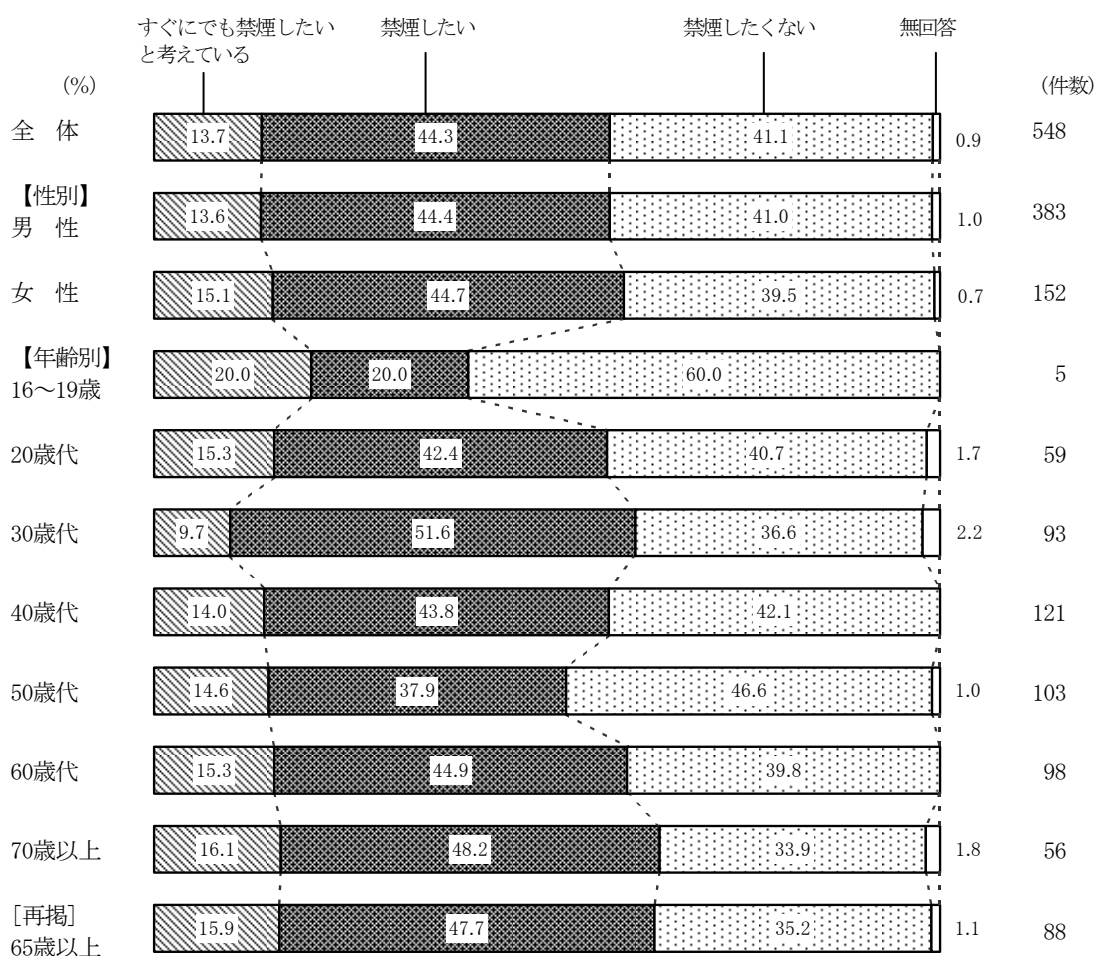
問28-1 あなたは禁煙したいと思いますか。(1つだけ)

- 喫煙者に禁煙の意向をたずねたところ、「すぐにでも禁煙したいと考えている」「禁煙したい」をあわせた『禁煙意向がある』人は58.0%と6割弱を占めている。一方、「禁煙したくない」と答えた人は41.1%となっている。
- 前回調査と比較すると、『禁煙意向がある』人は、前回調査の52.8%から、今回調査は58.0%と5.2ポイント増加している。
- 性別でも大きな差はみられない。
- 年齢別で見ると、『禁煙意向がある』人は、70歳以上が64.3%で最も高く、30歳代(61.3%)、60歳代(60.2%)でも6割以上となっている。

問28-1 禁煙の意向 (前回調査との比較)

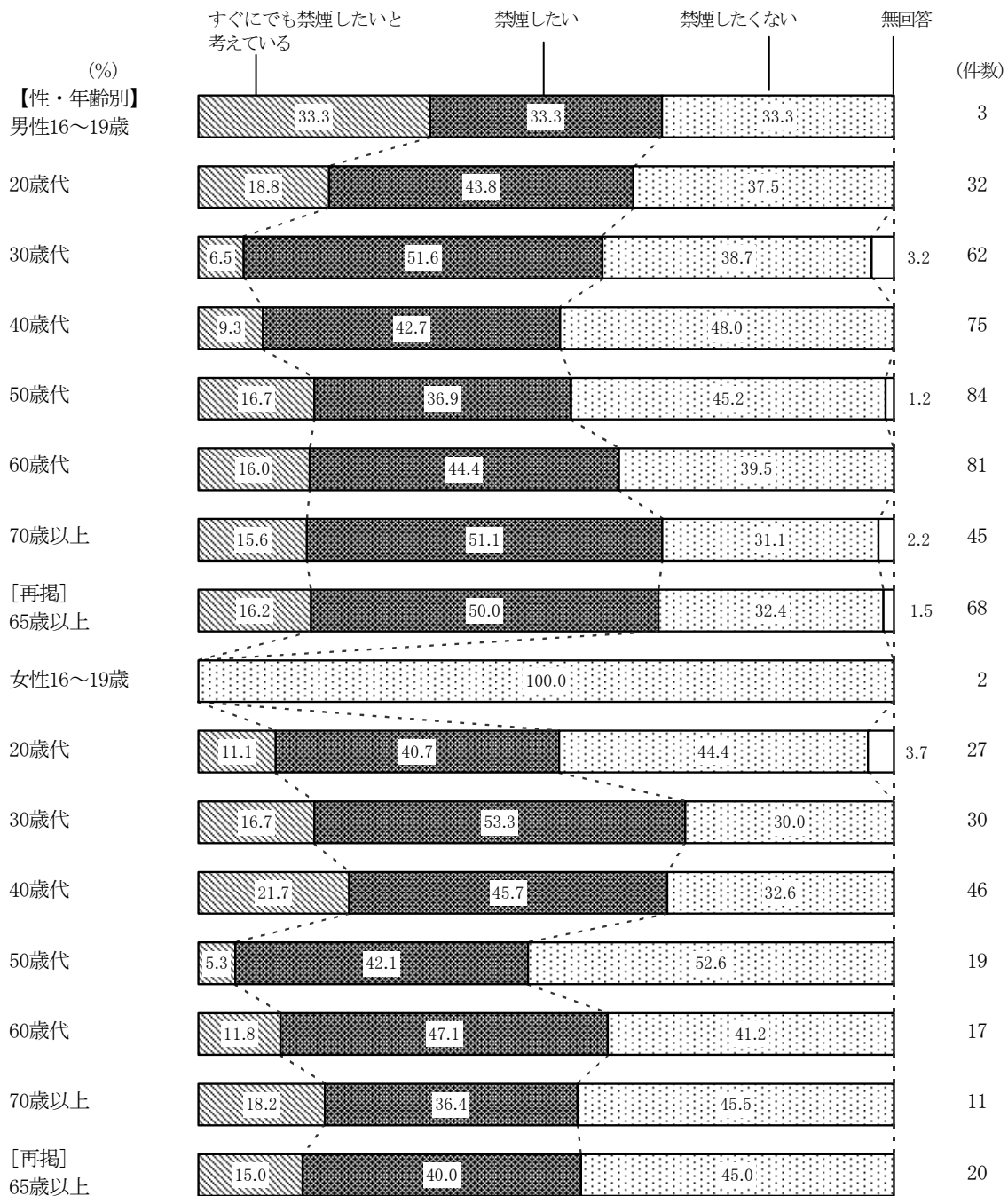


問28-1 禁煙の意向 (全体・性別・年齢別)



- 性・年齢別でみると、『禁煙意向がある』人は、女性の30歳代が70.0%で最も高く、次いで女性の40歳代が67.4%、男性の70歳以上が66.7%と続いている。

問28-1 禁煙の意向（性・年齢別）



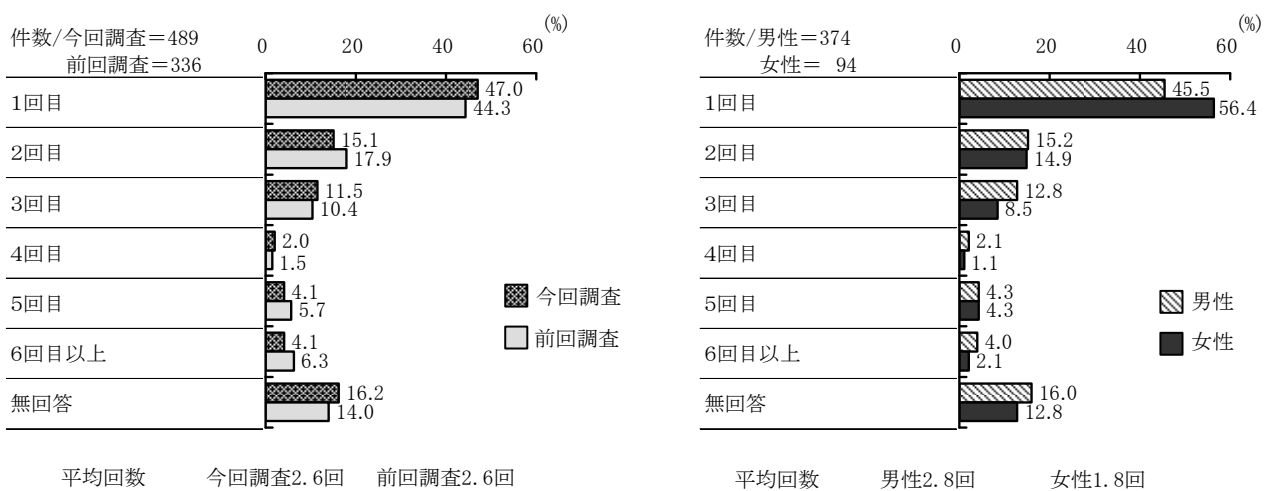
### 39 禁煙のチャレンジ回数

<問28で2と答えた方にお尋ねします。>

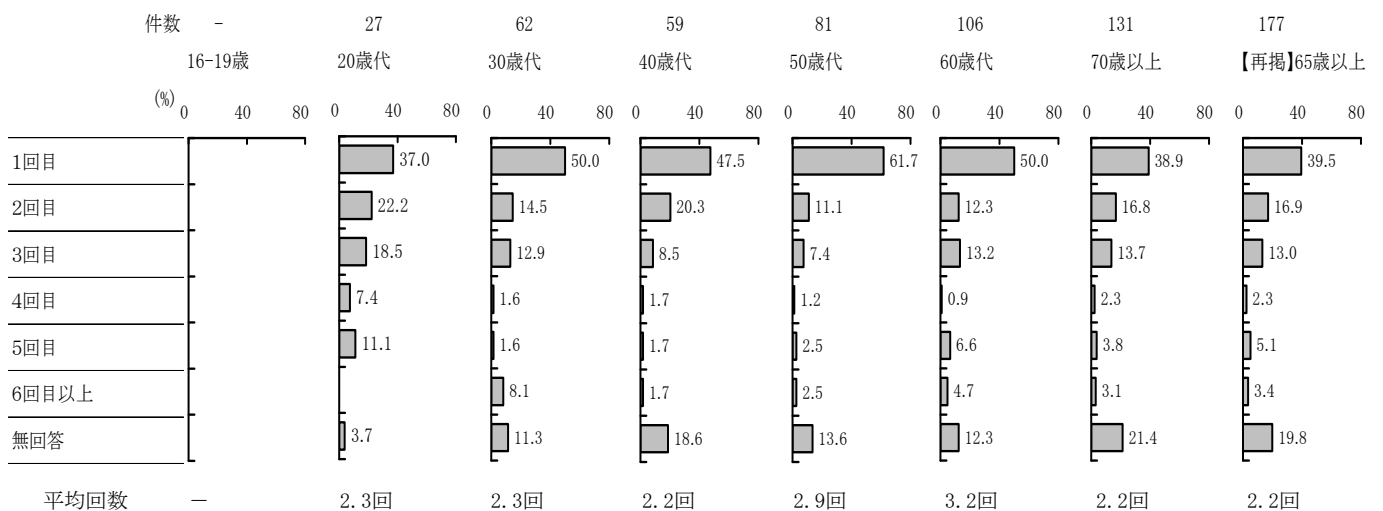
問28-2 何回目のチャレンジで成功されましたか。(具体的に)

- たばこをやめた人に対して禁煙のチャレンジ回数をたずねたところ、「1回目」が47.0%で最も高く、次いで「2回目」が15.1%となっている。
- 前回調査と比較すると、チャレンジした平均回数は、前回調査、今回調査ともに2.6回となっている。
- 性別で見ると、平均回数は、男性が2.8回、女性が1.8回となっている。
- 年齢別で見ると、平均回数は、60歳代が3.2回で最も多くなっている。

問28-2 禁煙のチャレンジ回数（全体・性別）



問28-2 禁煙のチャレンジ回数（年齢別）





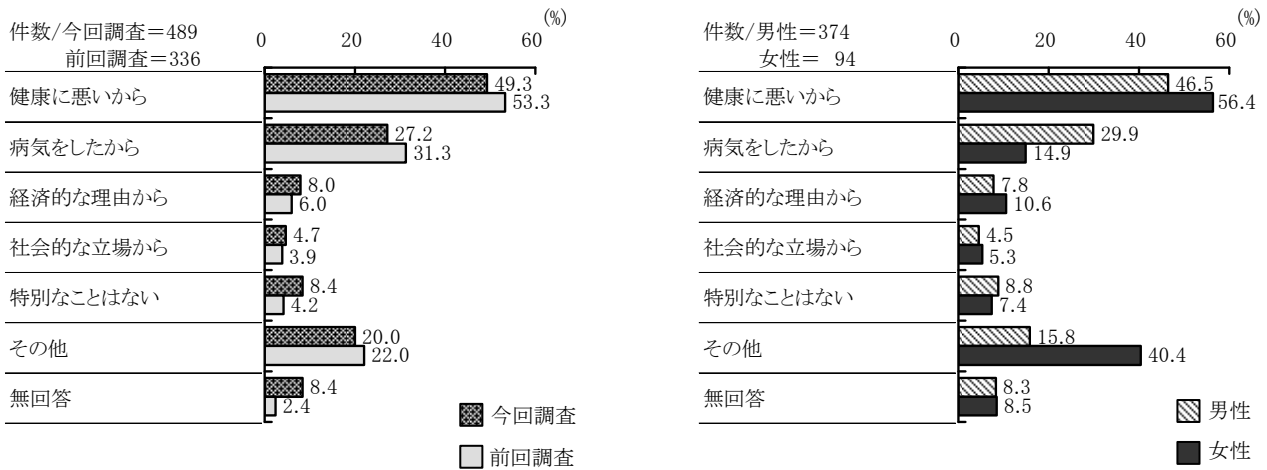
## 40 禁煙の動機

<問28で2と答えた方にお尋ねします。>

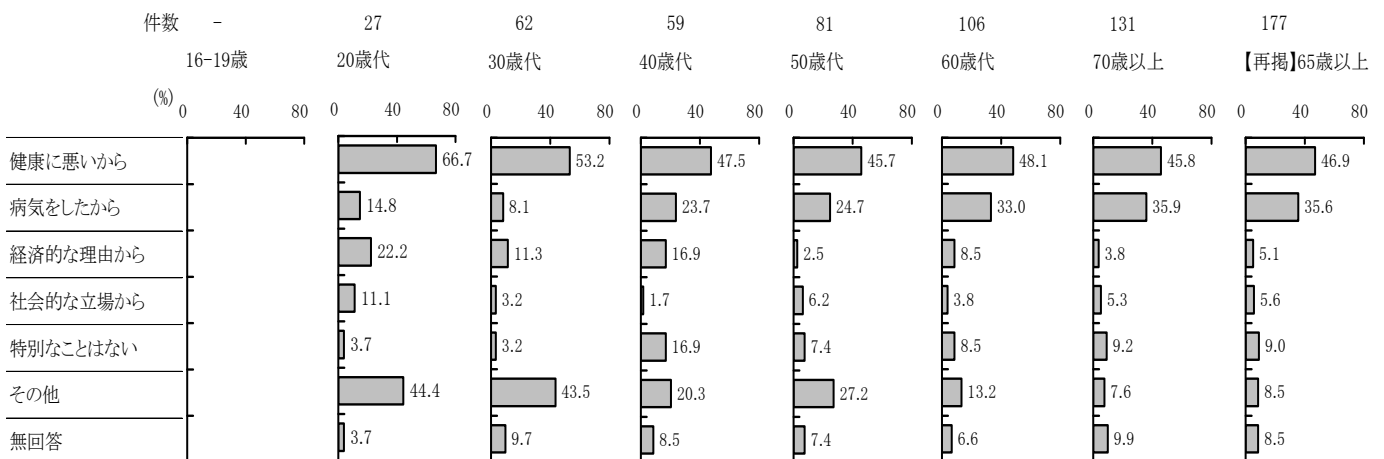
問28-3 あなたが禁煙をした動機は何ですか。(いくつでも)

- 禁煙の動機は、「健康に悪いから」が49.3%で最も高く、次いで「病気をしたから」が27.2%、「その他」が20.0%となっている。また、その他の内訳としては、“子どもが生まれたから”(16件)、“妊娠したから”(13件)、“家族の健康を考えて”(8件)、“吸う場所がなくなった”(8件)といった回答が多くなっている。
- 前回調査と比較すると、「特別なことはない」の割合が前回調査よりも増加している。
- 性別で見ると、「病気をしたから」は男性で高く、「健康に悪いから」は女性で高くなっている。
- 年齢別で見ると、「経済的な理由から」は20歳代と40歳代で高く、「病気をしたから」は60歳代以上で高くなっている。

問28-3 禁煙の動機(全体・性別)



問28-3 禁煙の動機(年齢別)

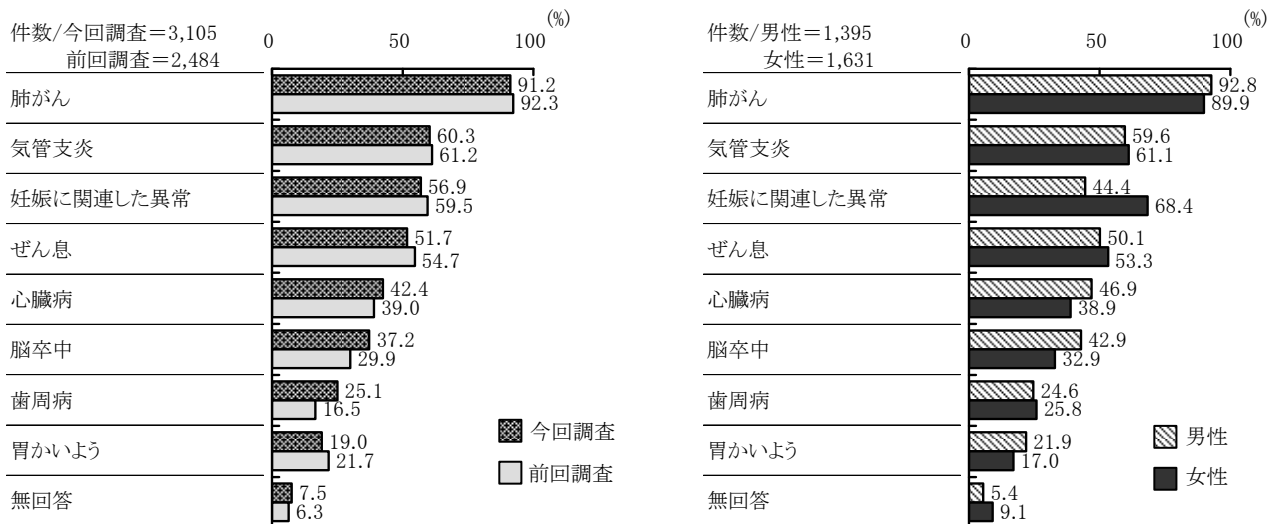


## 41 喫煙が及ぼす健康への影響

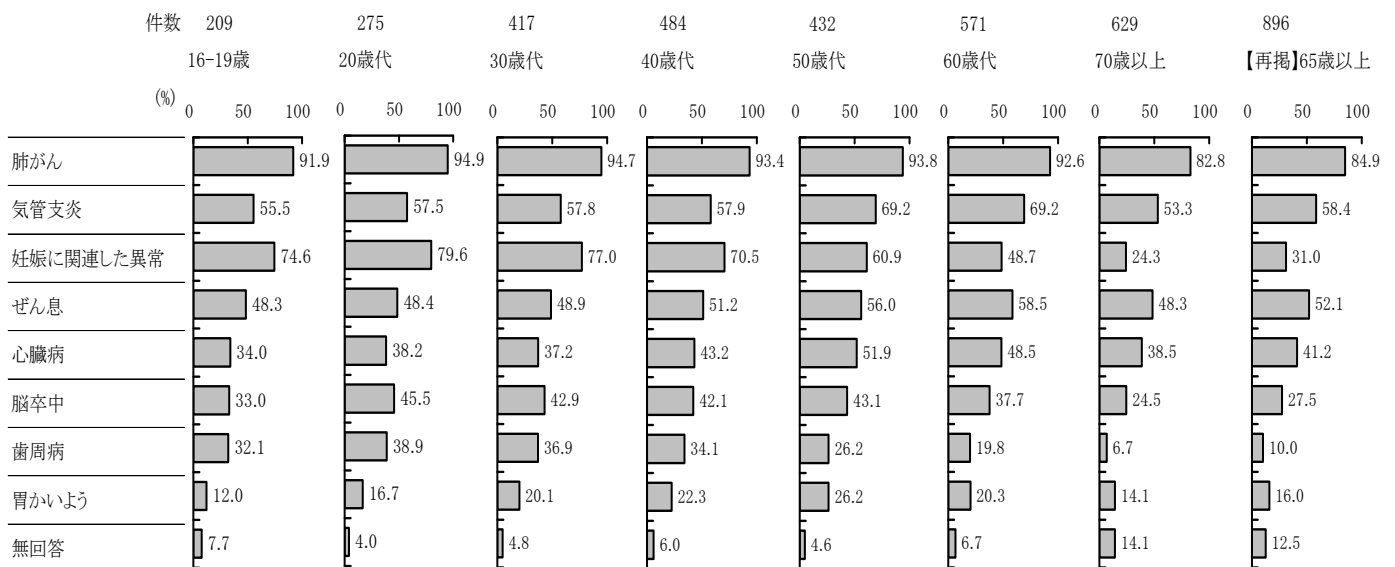
問29 次の病気のうち、たばこが影響すると知っているものはどれですか。(いくつでも)

- 喫煙が影響すると知っている病気は、「肺がん」が91.2%で最も高く、次いで「気管支炎」(60.3%)、「妊娠に関連した異常」(56.9%)、「ぜん息」(51.7%)、「心臓病」(42.4%)、「脳卒中」(37.2%)、「歯周病」(25.1%)と続き、「胃かいよう」が19.0%で最も低くなっている。
- 前回調査と比較すると、「心臓病」「脳卒中」「歯周病」の割合が前回調査よりも増加している。
- 性別でみると、「妊娠に関連した異常」は女性の割合が高く、「心臓病」「脳卒中」「胃かいよう」は男性の割合が高くなっている。
- 年齢別でみると、「妊娠に関連した異常」「歯周病」は40歳代以下で高く、「気管支炎」「心臓病」は50歳代、60歳代の割合が高くなっている。また、70歳以上では「ぜん息」「心臓病」を除く項目での割合が低くなっている。

問29 喫煙が及ぼす健康への影響 (全体・性別)

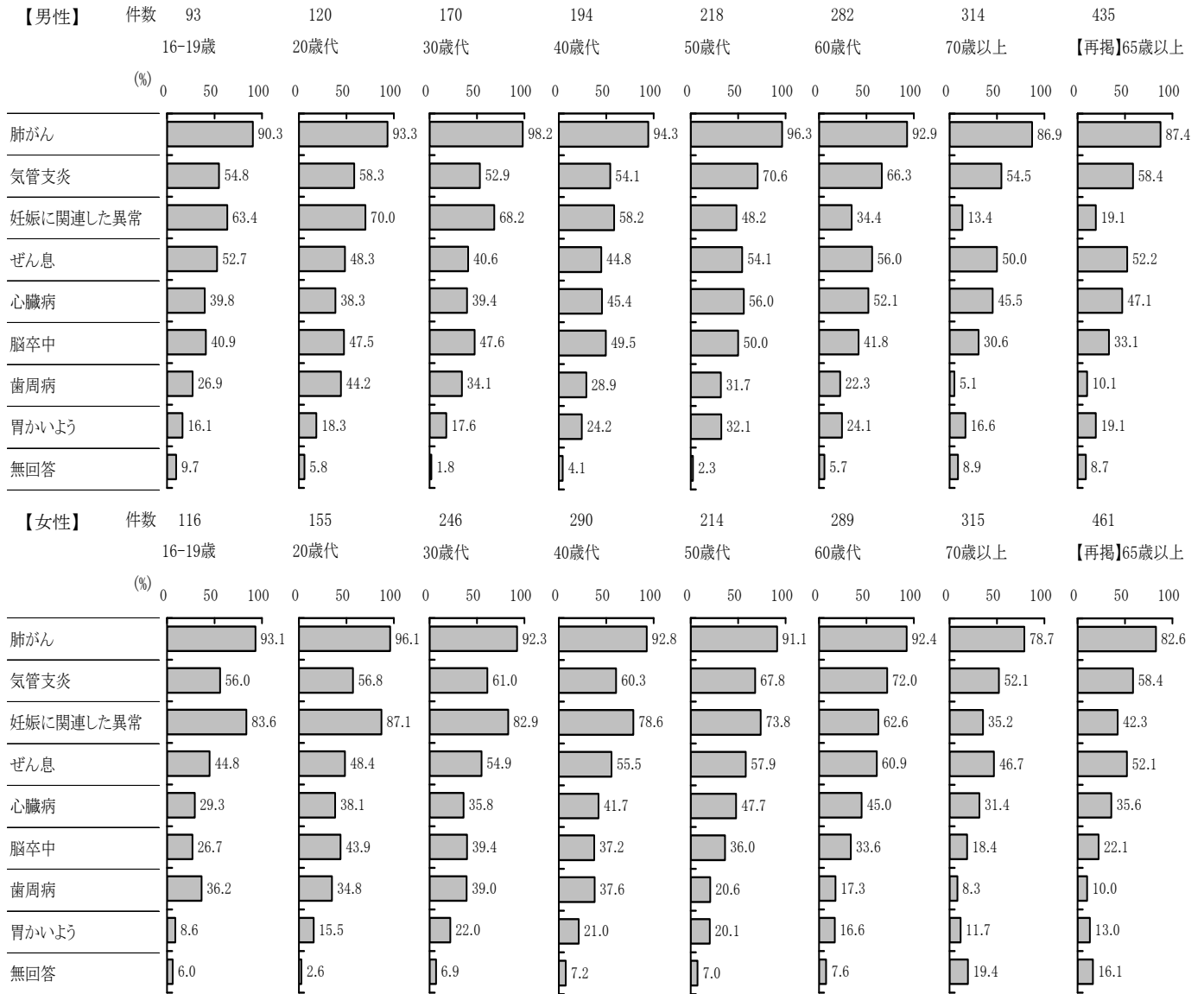


問29 喫煙が及ぼす健康への影響 (年齢別)



- 性・年齢別でみると、「気管支炎」は男女ともに50歳代、60歳代で高く、「妊娠に関連した異常」は女性の50歳代以下で高くなっている。「脳卒中」は男性の20歳代から50歳代で高く、「歯周病」は、男性の20歳代、30歳代と女性の40歳代以下で高くなっている。

問29 喫煙が及ぼす健康への影響（性・年齢別）

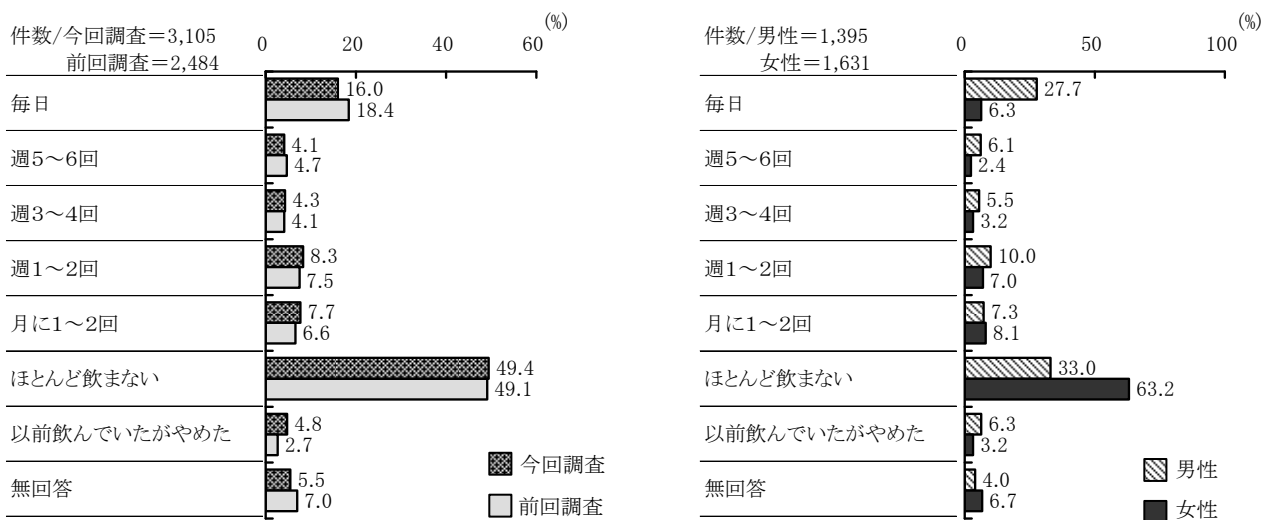


## 42 飲酒の状況

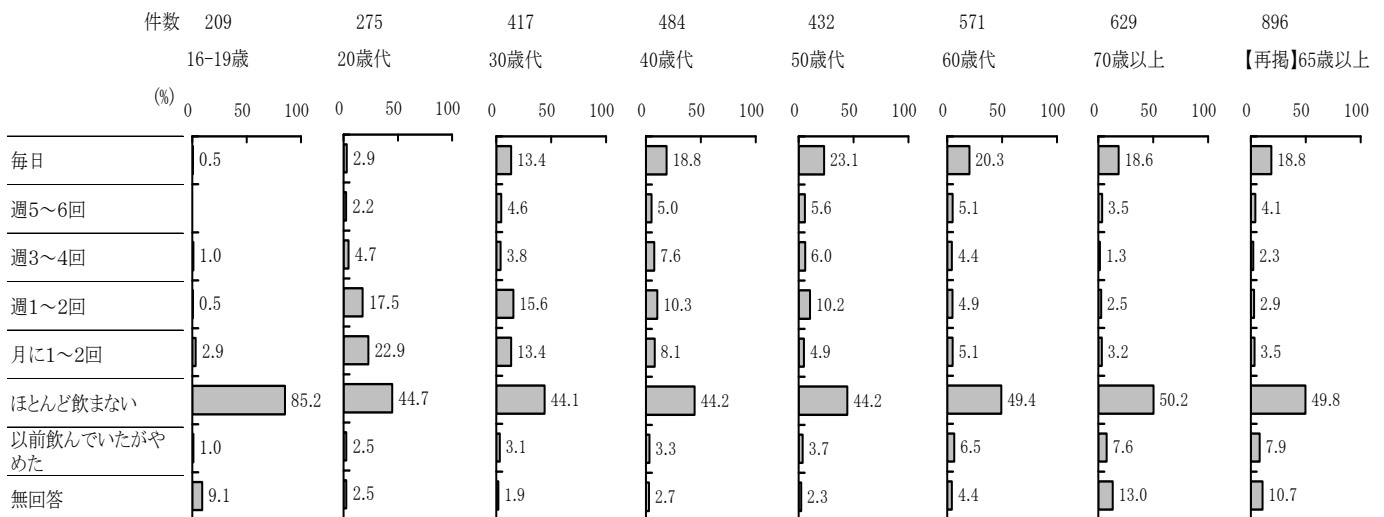
### 問30 あなたは、お酒をどのくらいの割合で飲みますか。(1つだけ)

- 飲酒の状況についてたずねたところ、「ほとんど飲まない」人が49.4%で最も高く、これに「月に1～2回」「以前飲んでいたがやめた」をあわせた『飲酒の習慣はない』と判断される人は61.9%となっている。一方、『週1回以上』の頻度で飲酒の習慣がある人はあわせて32.7%、『週5日以上』の常飲者は20.1%となっている。
- 前回調査と比較すると、『週1回以上』の頻度で飲酒の習慣がある人の割合は、前回調査の34.7%から今回調査は32.7%と2ポイント減少し、『週5日以上』の常飲者は、前回調査の23.1%から今回調査は20.1%と3ポイント減少している。
- 性別でみると、「ほとんど飲まない」人は、男性(33.0%)よりも女性(63.2%)で高く、「毎日」飲む人は、女性(6.3%)よりも男性(27.7%)で高くなっている。『週5日以上』の常飲者は、男性が33.8%、女性が8.6%となっている。
- 年齢別でみると、『週5日以上』の常飲者は、40歳代以上で2割以上を占めている(40歳代23.8%、50歳代28.7%、60歳代25.4%、70歳以上22.1%)。

### 問30 飲酒の状況(前回調査との比較)

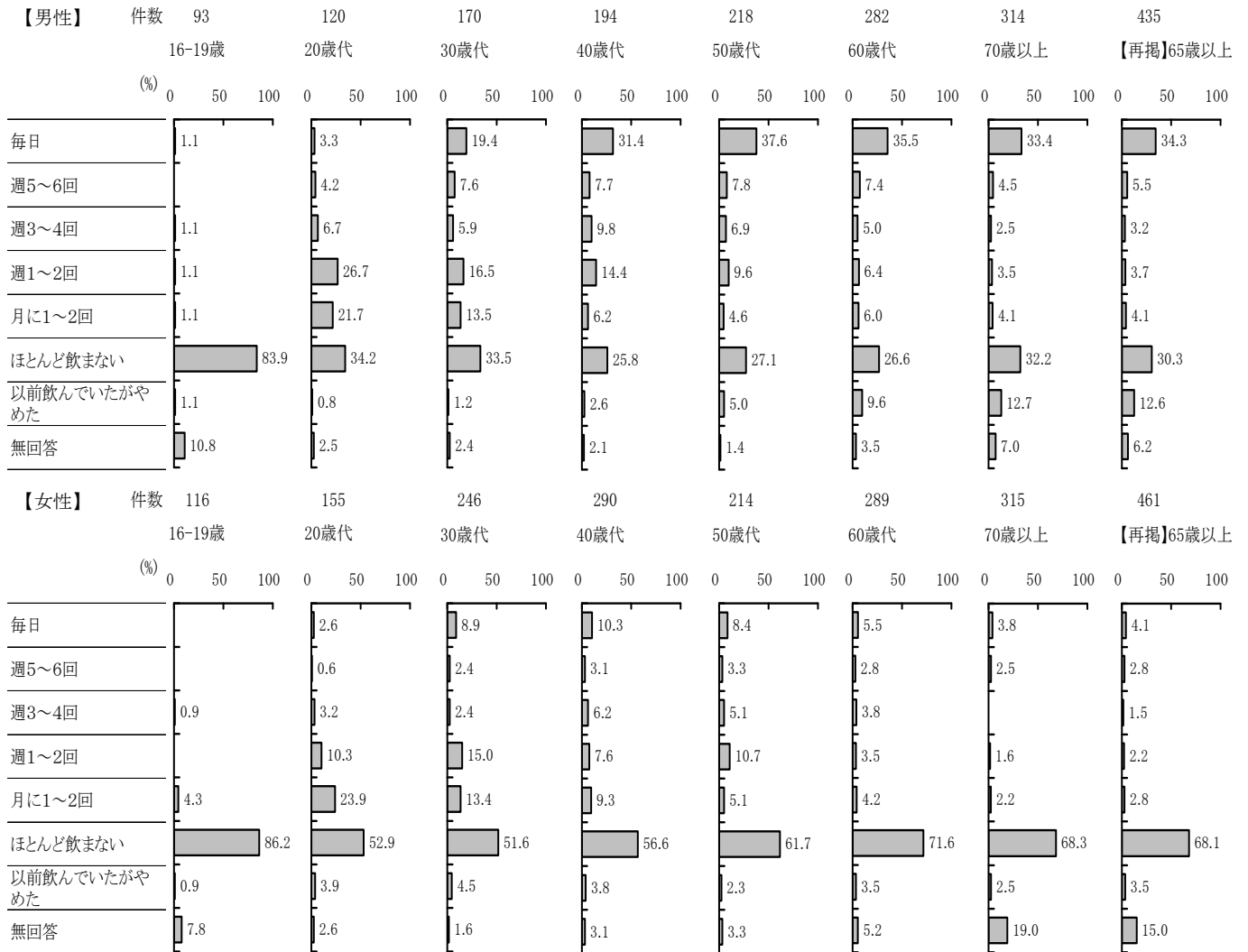


### 問30 飲酒の状況(年齢別)



- 性・年齢別でみると、「毎日」飲む人は、男性の40歳代以上では3割以上を占め、50歳代が37.6%で最も高くなっている。また、『週5日以上』の常飲者は、男性では40歳代(39.1%)、50歳代(45.4%)、60歳代(42.9%)で高く、女性では40歳代が13.4%で最も高くなっている。

問30 飲酒の状況（性・年齢別）

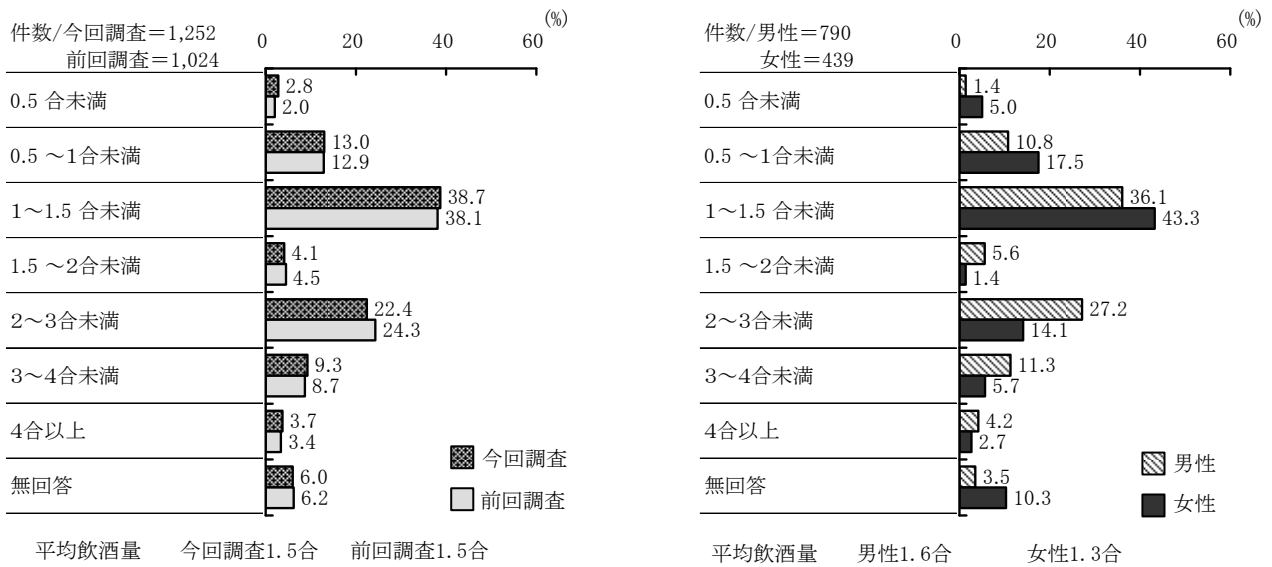


### 43 飲酒量

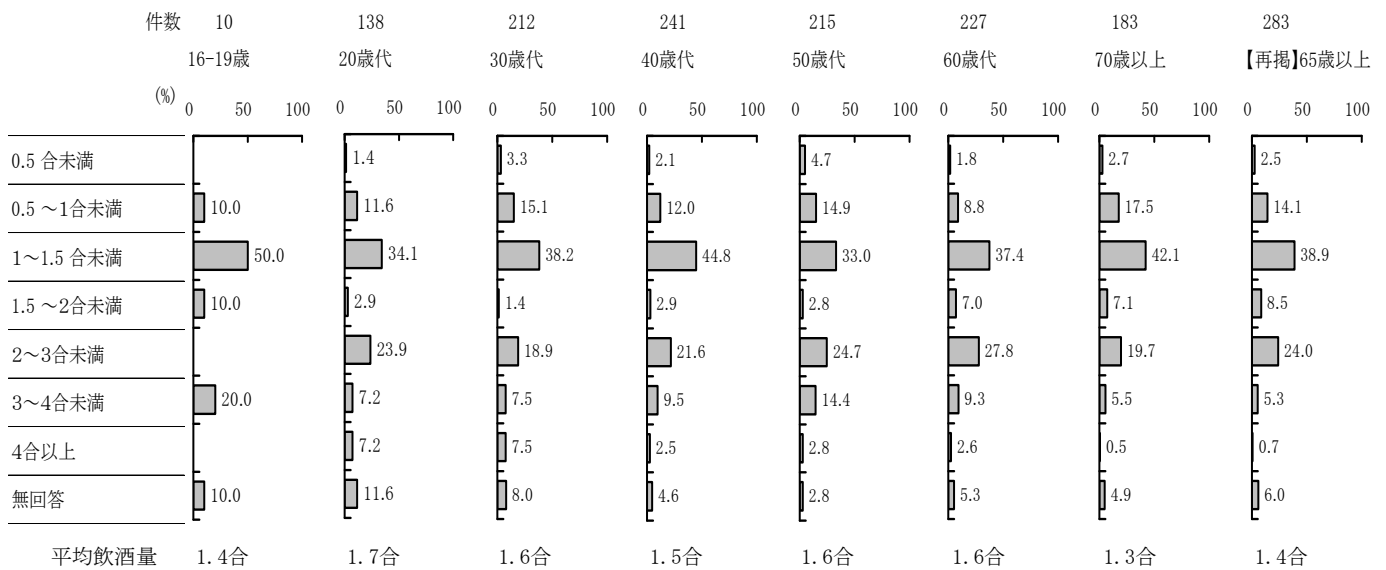
<問30で 1, 2, 3, 4 又は 5 と回答した方にお尋ねします。>  
 問30-1 お酒を飲む量はどのくらいですか。(具体的に)

- 月に1回以上飲酒をする人の飲酒量は、日本酒に換算して「1～1.5合未満」が38.7%で最も高く、次いで「2～3合未満」が22.4%となっている。平均飲酒量は1.5合となっている。
- 前回調査と比較しても大きな差はみられない。
- 性別でみると、平均飲酒量は男性が1.6合、女性が1.3合となっている。
- 年齢別でみると、『2合以上』は、50歳代(41.9%)、60歳代(39.7%)で高くなっている。

問30-1 飲酒量 (全体・性別)

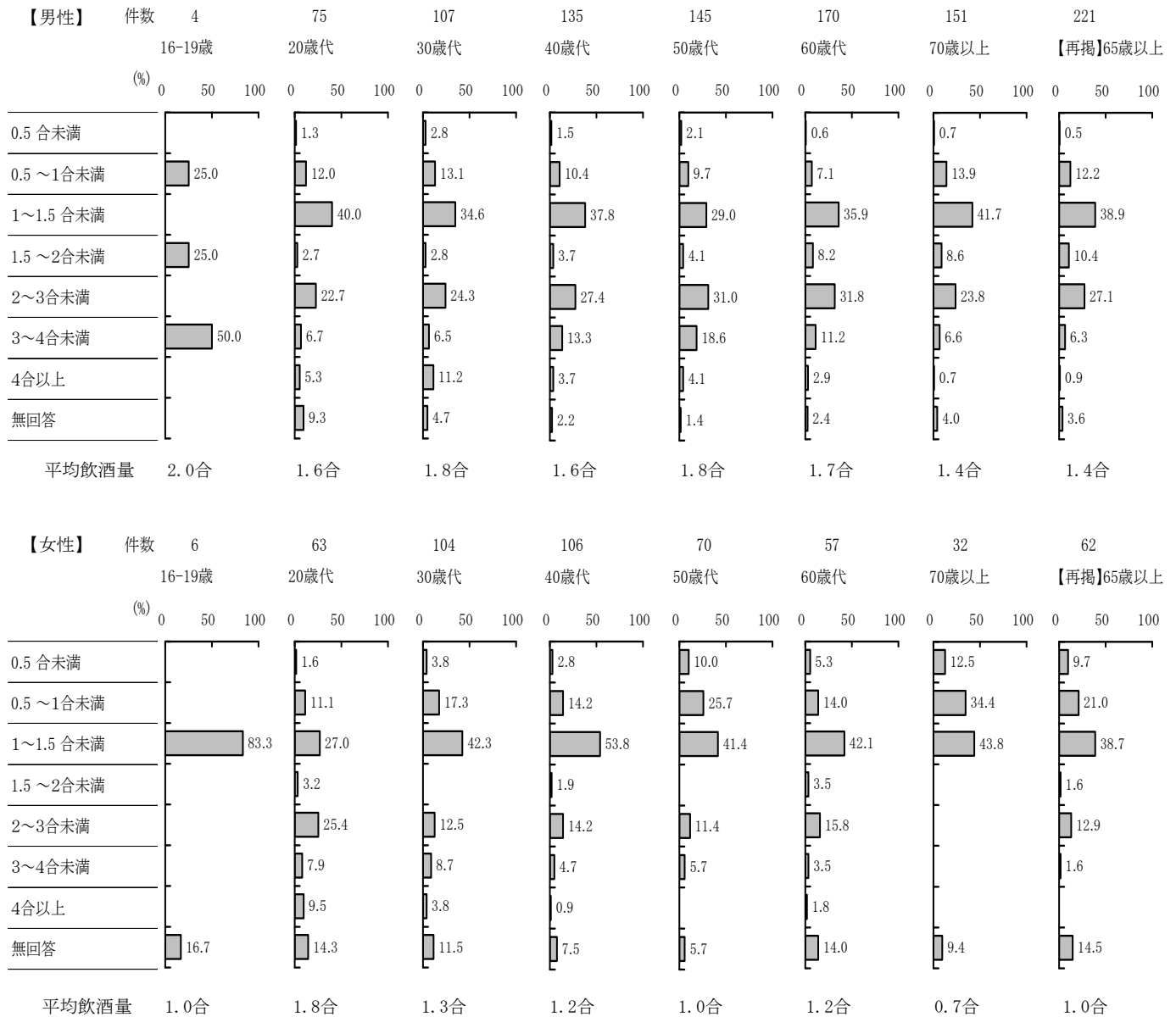


問30-1 飲酒量 (年齢別)



- 性・年齢別でみると、『2合以上』は、男性では50歳代が53.7%で最も高く、女性では20歳代が42.8%で最も高くなっている。

問30 - 1 飲酒量 (性・年齢別)



- 飲酒の状況別でみると、平均飲酒量は、毎日飲酒する人が1.7合で最も多くなっている。

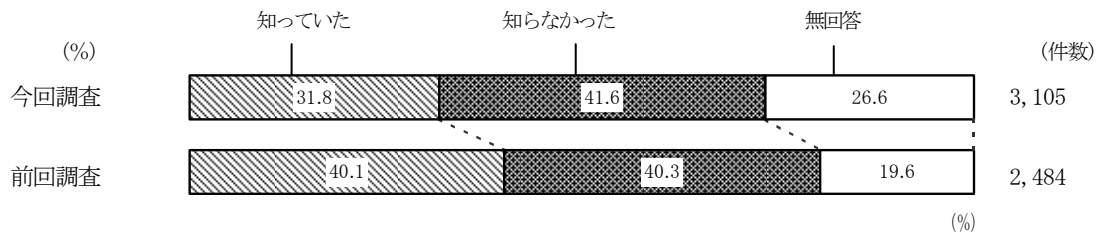
平均飲酒量	(合)
全体	1.5
毎日	1.7
週5～6回	1.4
週3～4回	1.3
週1～2回	1.4
月に1～2回	1.4

#### 44 節度ある適度な飲酒の知識

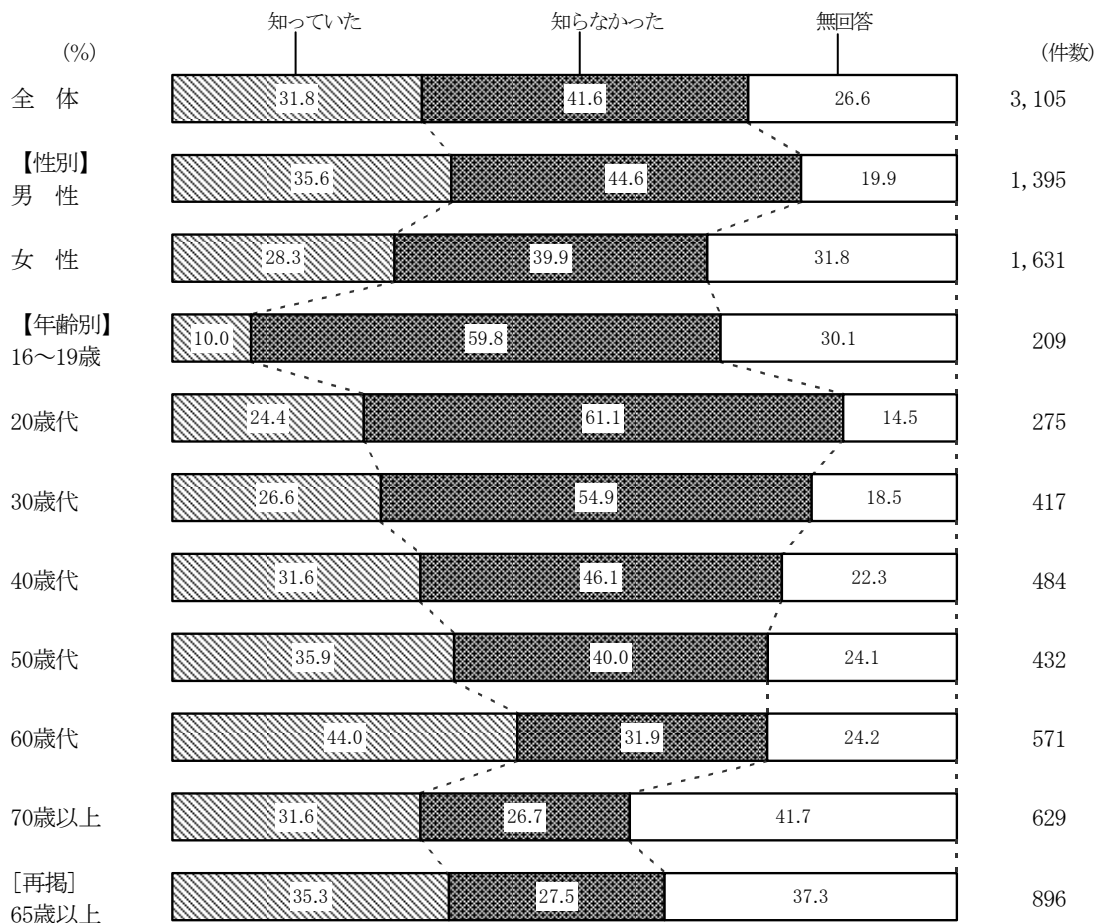
問31 「節度ある適度な飲酒」として、1日平均ビール中瓶1本程度（純アルコールで約20g）とされていますが、あなたはこのことを知っていましたか。（1つだけ）

- 節度ある適度な飲酒の知識については、「知っていた」人が31.8%、「知らなかった」が41.6%で、知らなかった人の割合が高くなっている。
- 前回調査と比較すると、「知っていた」人の割合は、前回調査の40.1%から今回調査は31.8%と8.3ポイント減少している。
- 性別で見ると、「知っていた」人は、女性（28.3%）よりも男性（35.6%）で高くなっている。
- 年齢別で見ると、「知っていた」人は、60歳代までは高年齢になるにしがたって割合が増加しており、60歳代では44.0%となっている。一方、「知らなかった」人は、30歳代以下の若年層で5割以上を占めている。

問31 節度ある適度な飲酒の知識（前回調査との比較）



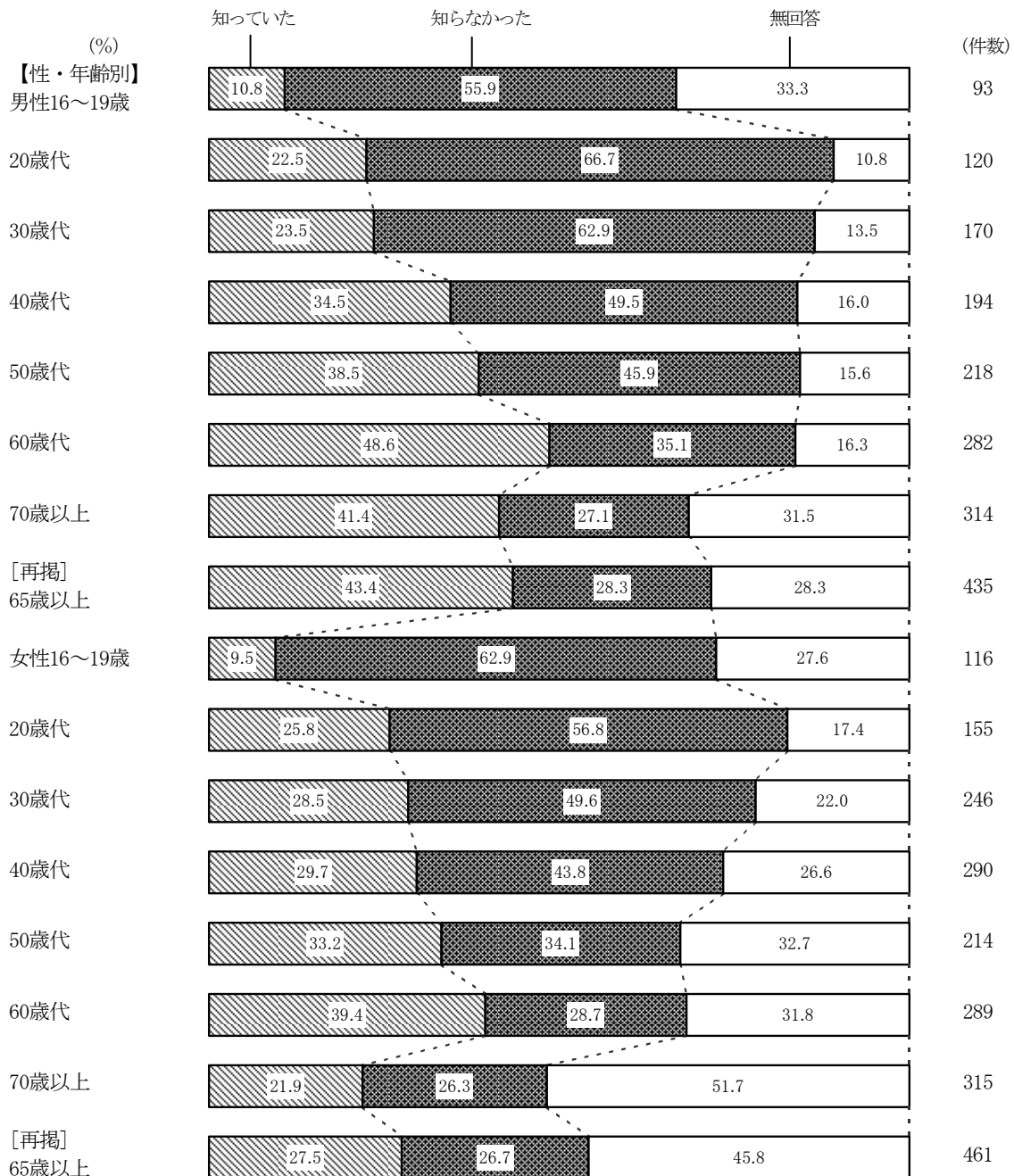
問31 節度ある適度な飲酒の知識（全体・性別・年齢別）





- 性・年齢別でみると、男性の60歳代以上と女性の60歳代を除いた層では、「知っていた」人よりも「知らなかった」人の割合が高くなっている。

問31 節度ある適度な飲酒の知識（性・年齢別）

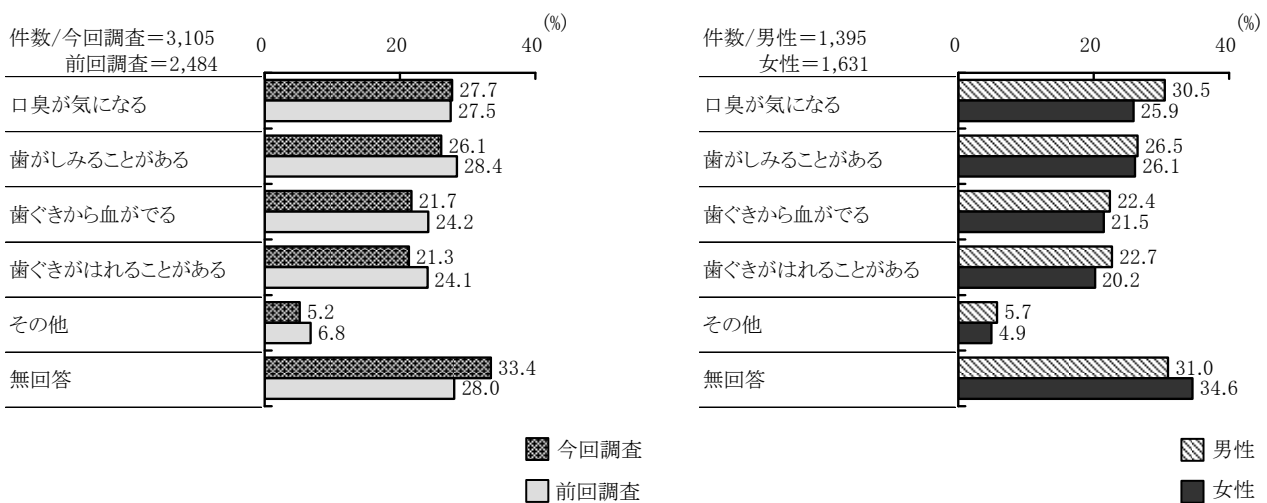


## 45 歯や口の症状

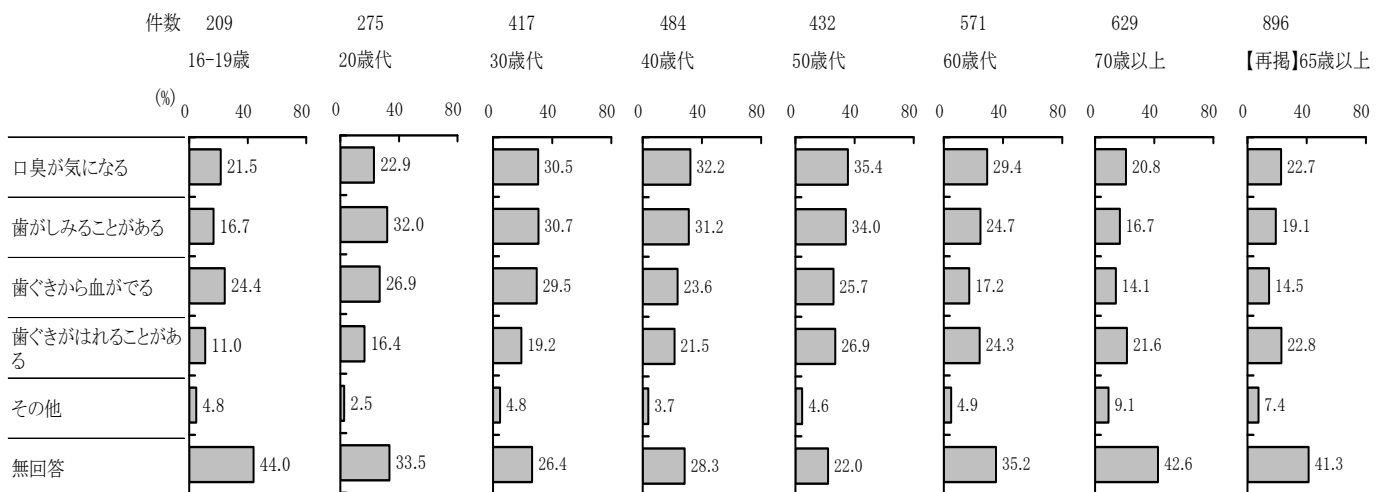
問32 あなたは、歯や口について次の症状がありますか。(いくつでも)

- 歯や口の症状としては、「口臭が気になる」(27.7%)、「歯がしみることがある」(26.1%)、「歯ぐきから血がでる」(21.7%)、「歯ぐきがはれることがある」(21.3%)のいずれも2割以上を占めている。
- 前回調査と比較すると、「歯がしみることがある」「歯ぐきから血がでる」「歯ぐきがはれることがある」の割合が減少している。
- 性別でみると、「口臭が気になる」は、男性(30.5%)の割合が高くなっている。
- 年齢別でみると、「口臭が気になる」「歯がしみることがある」「歯ぐきがはれることがある」は50歳代が最も高く、「歯ぐきから血がでる」は、30歳代が最も高くなっている。

問32 歯や口の症状 (全体・性別)

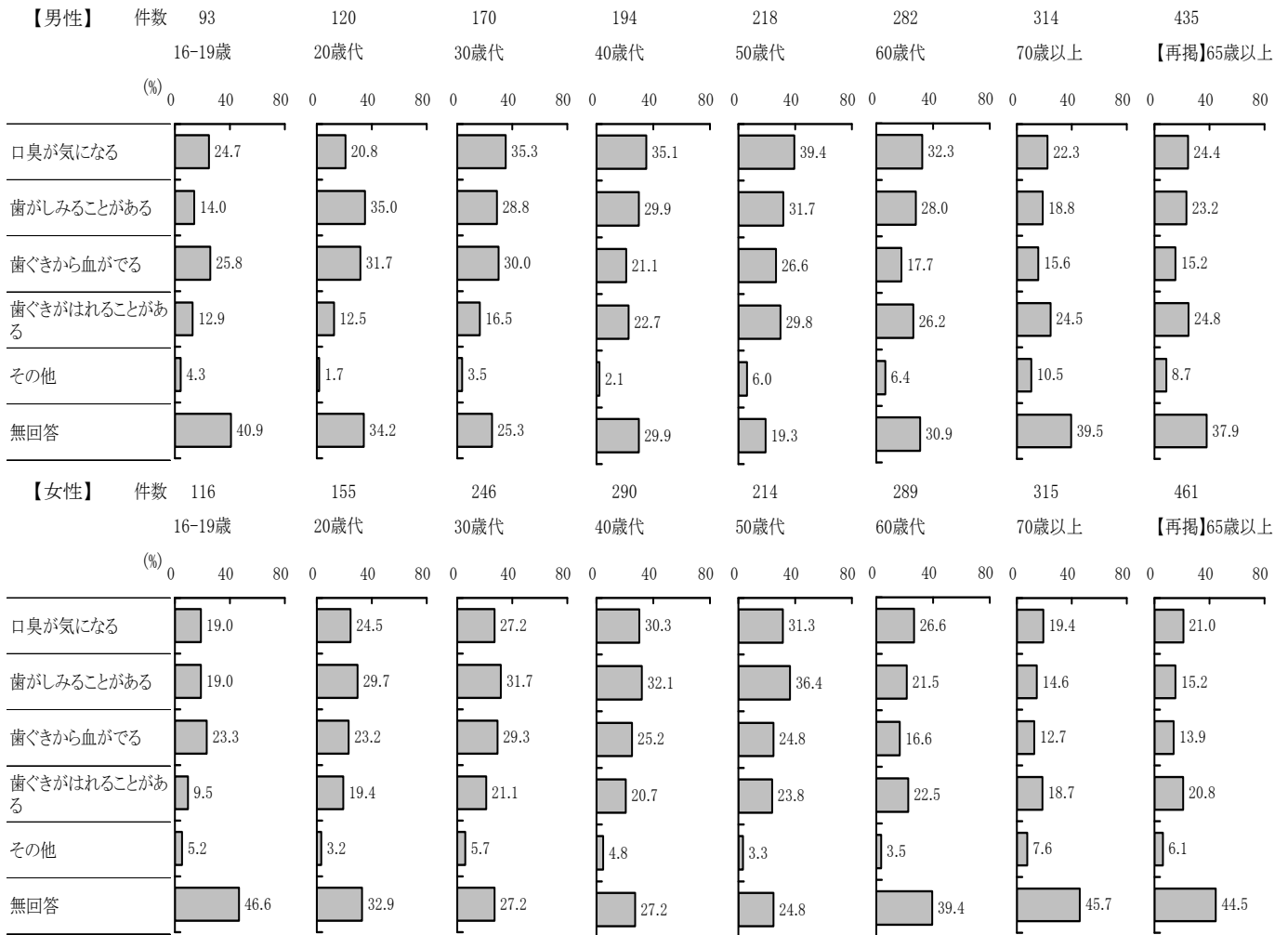


問32 歯や口の症状 (年齢別)



- 性・年齢別でみると、「口臭が気になる」は男性の30歳代から50歳代で高く、「歯がしみることもある」は男性の20歳代と女性の30歳代から50歳代で高くなっている。また、「歯ぐきから血がでる」は男性の20歳代、30歳代と女性の30歳代で高く、「歯ぐきがはれることがある」は男性の50歳代、60歳代で高くなっている。

問32 歯や口の症状（性・年齢別）

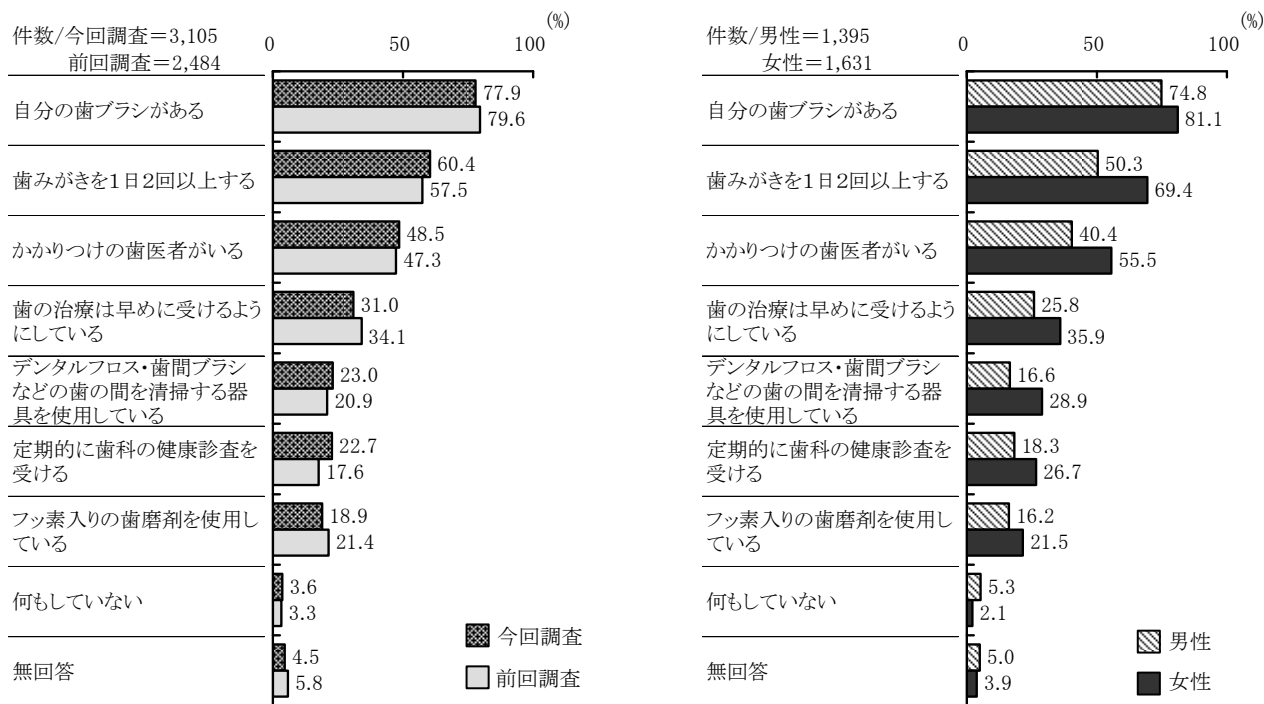


## 46 歯の健康管理

問33 あなたは、歯の健康管理として、どのようなことを実践していますか。(いくつでも)

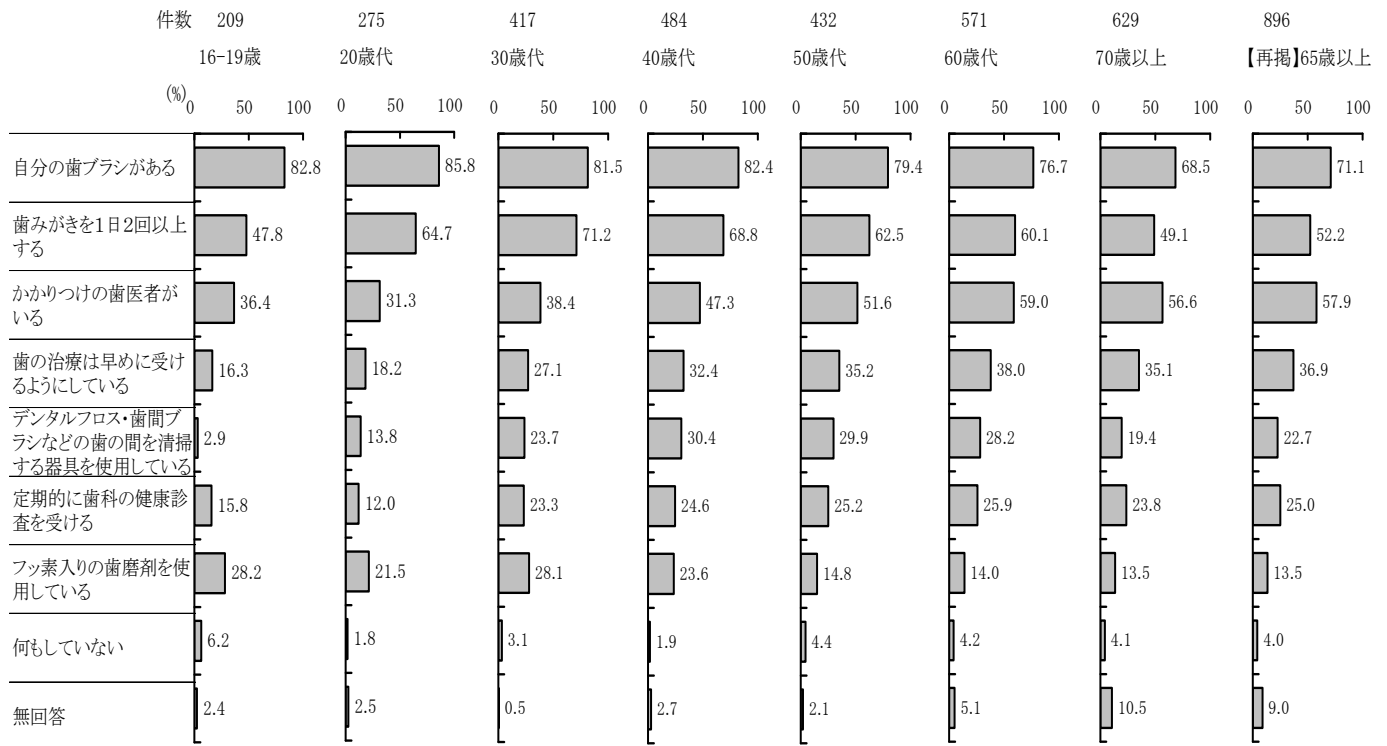
- 歯の健康管理で実践していることは、「自分の歯ブラシがある」が77.9%で最も高く、次いで「歯みがきを1日2回以上する」(60.4%)、「かかりつけの歯医者がある」(48.5%)、「歯の治療は早めに受けるようにしている」(31.0%)などが続いている。
- 前回調査と比較すると、「定期的に歯科の健診を受ける」は、前回調査の17.6%から今回調査は22.7%と5.1ポイント増加している。
- 性別でみると、いずれも項目についても男性よりも女性の割合が高く、「歯みがきを1日2回以上する」「かかりつけの歯医者がある」「歯の治療は早めに受けるようにしている」「デンタルフロス・歯間ブラシなどの歯の間を清掃する器具を使用している」では10ポイント以上の差がみられる。

問33 歯の健康管理 (全体・性別)



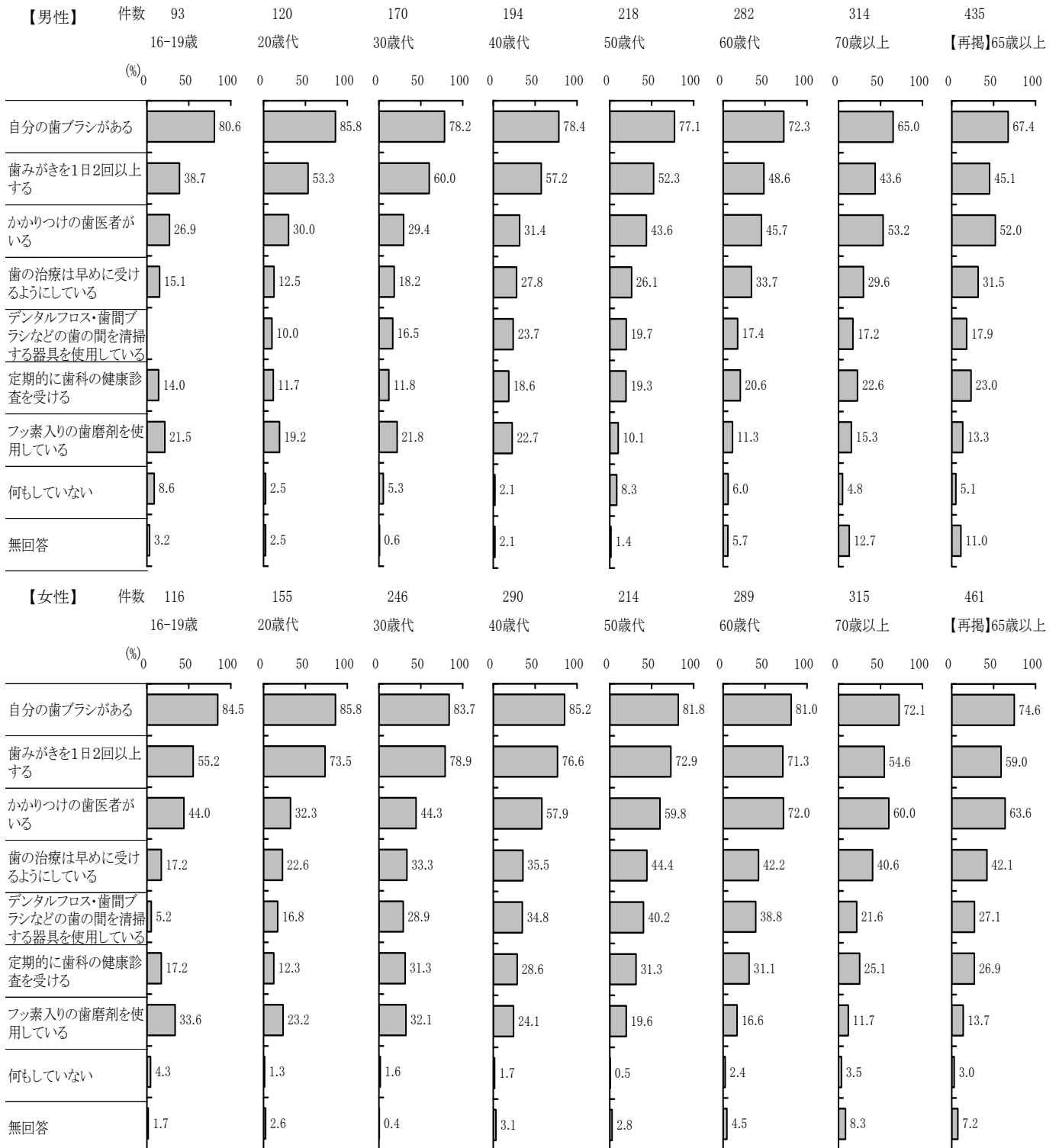
- 年齢別でみると、「歯みがきを1日2回以上する」は30歳代（71.2%）、40歳代（68.8%）で高く、逆に16～19歳（47.8%）、70歳以上（49.1%）で低くなっている。また、「かかりつけの歯医者がある」は60歳代（59.0%）、70歳以上（56.6%）で高くなっている。

問33 歯の健康管理（年齢別）



- 性・年齢別でみると、「歯みがきを1日2回以上する」は、女性の20歳代から60歳代で7割台と高くなっている。「かかりつけの歯医者がある」は女性の40歳代以上で、「歯の治療は早めに受けるようにしている」は女性の50歳代以上で、「デンタルフロス・歯間ブラシなどの歯の間を清掃する器具を使用している」は女性の40歳代から60歳代で、「定期的に歯科の健康診査を受ける」は女性の30歳代から60歳代で、それぞれ高くなっている。また、「フッ素入りの歯磨剤を使用している」は女性の16～19歳、30歳代で高くなっている。

問33 歯の健康管理（性・年齢別）

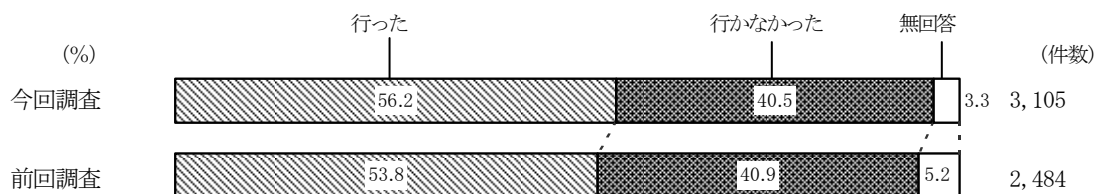


## 47 歯科医院の受診状況

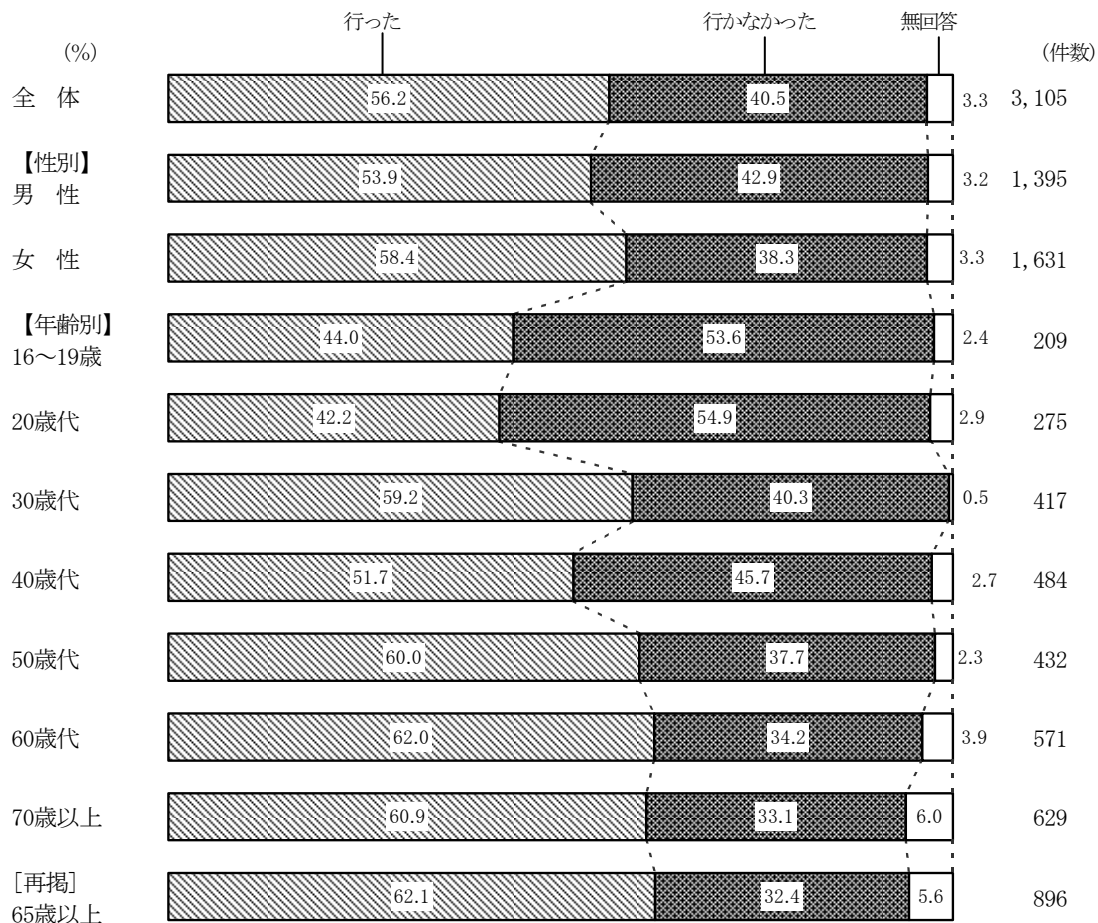
問34 あなたは、この1年間に歯科医院に行きましたか。(1つだけ)

- 歯科医院の受診状況は、「行った」人が56.2%と5割以上を占め、「行かなかった」人は40.5%となっている。
- 前回調査と比較すると、「行った」人は、前回調査の53.8%から今回調査は56.2%と2.4ポイント増加している。
- 性別で見ると、「行った」人は、女性(58.4%)の割合が高くなっている。
- 年齢別で見ると、歯科医院に「行った」人は、50歳代以上で6割以上となっている。逆に「行かなかった」人は20歳代以下で5割以上と高くなっている。

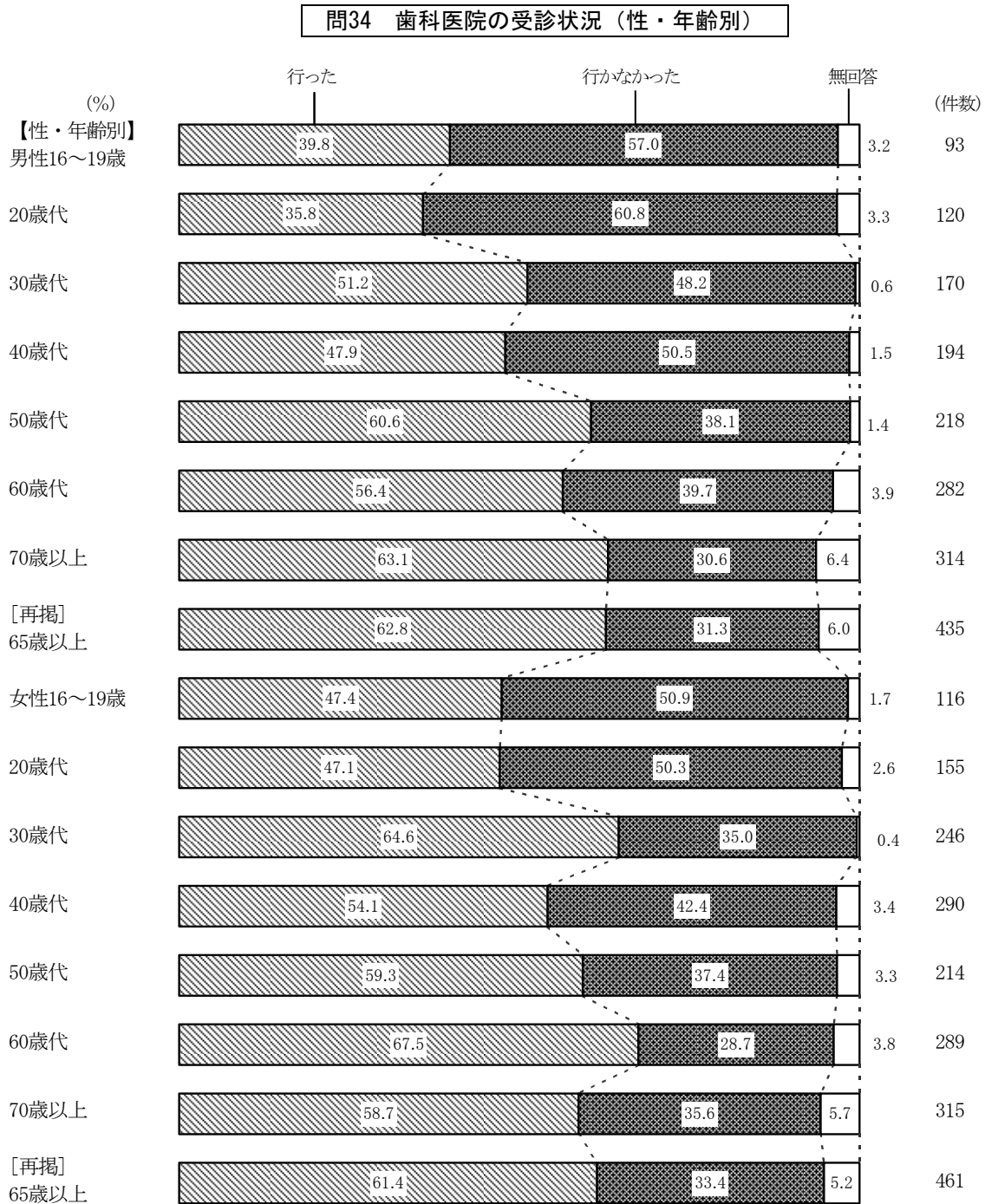
問34 歯科医院の受診状況(前回調査との比較)



問34 歯科医院の受診状況(全体・性別・年齢別)



- 性・年齢別でみると、歯科医院に「行った」人は、男性の30歳代と50歳以上、女性の30歳代以上では5割以上となっている。





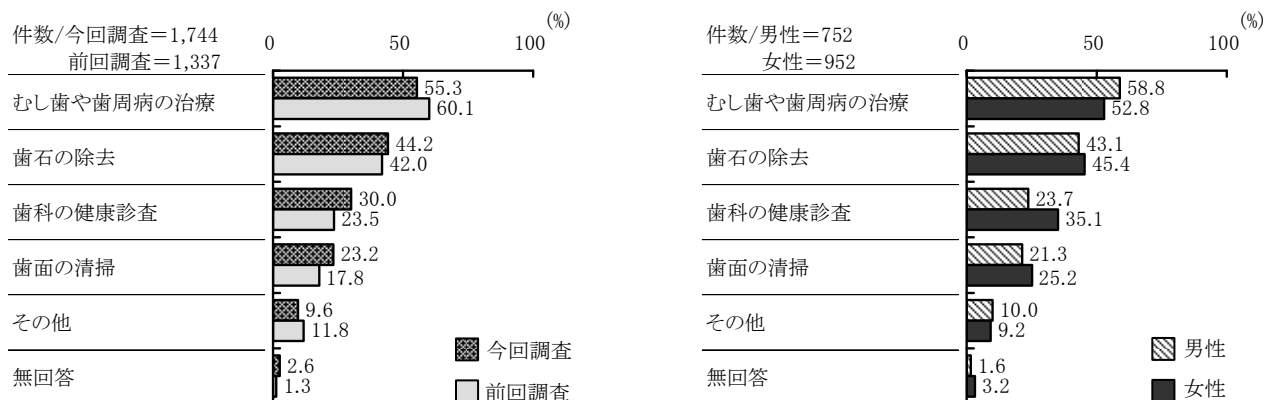
## 48 歯科医院の受診理由

<問34で1と回答した方にお尋ねします。>

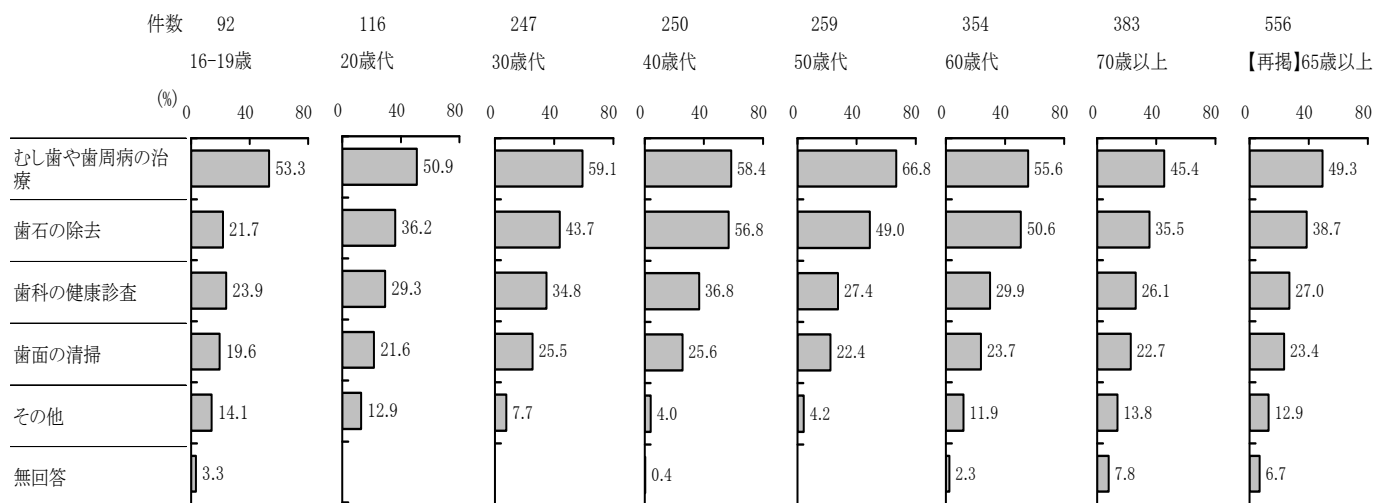
問34-1 どのようなことで行きましたか。(いくつでも)

- 歯科医院の受診理由は、「むし歯や歯周病の治療」が55.3%で最も高く、次いで「歯石の除去」(44.2%)、「歯科の健康診査」(30.0%)が高くなっている。
- 前回調査と比較すると、「むし歯や歯周病の治療」の割合が減少し、「歯科の健康診査」「歯面の清掃」の割合が増加している。
- 性別でみると、「むし歯や歯周病の治療」は男性で高く、「歯科の健康診査」「歯面の清掃」は女性で高くなっている。
- 年齢別でみると、「むし歯や歯周病の治療」は50歳代(66.8%)で高く、「歯石の除去」は40歳代(56.8%)、60歳代(50.6%)で高くなっている。また、「歯科の健康診査」は30歳代(34.8%)、40歳代(36.8%)で高くなっている。

問34-1 歯科医院の受診理由(全体・性別)

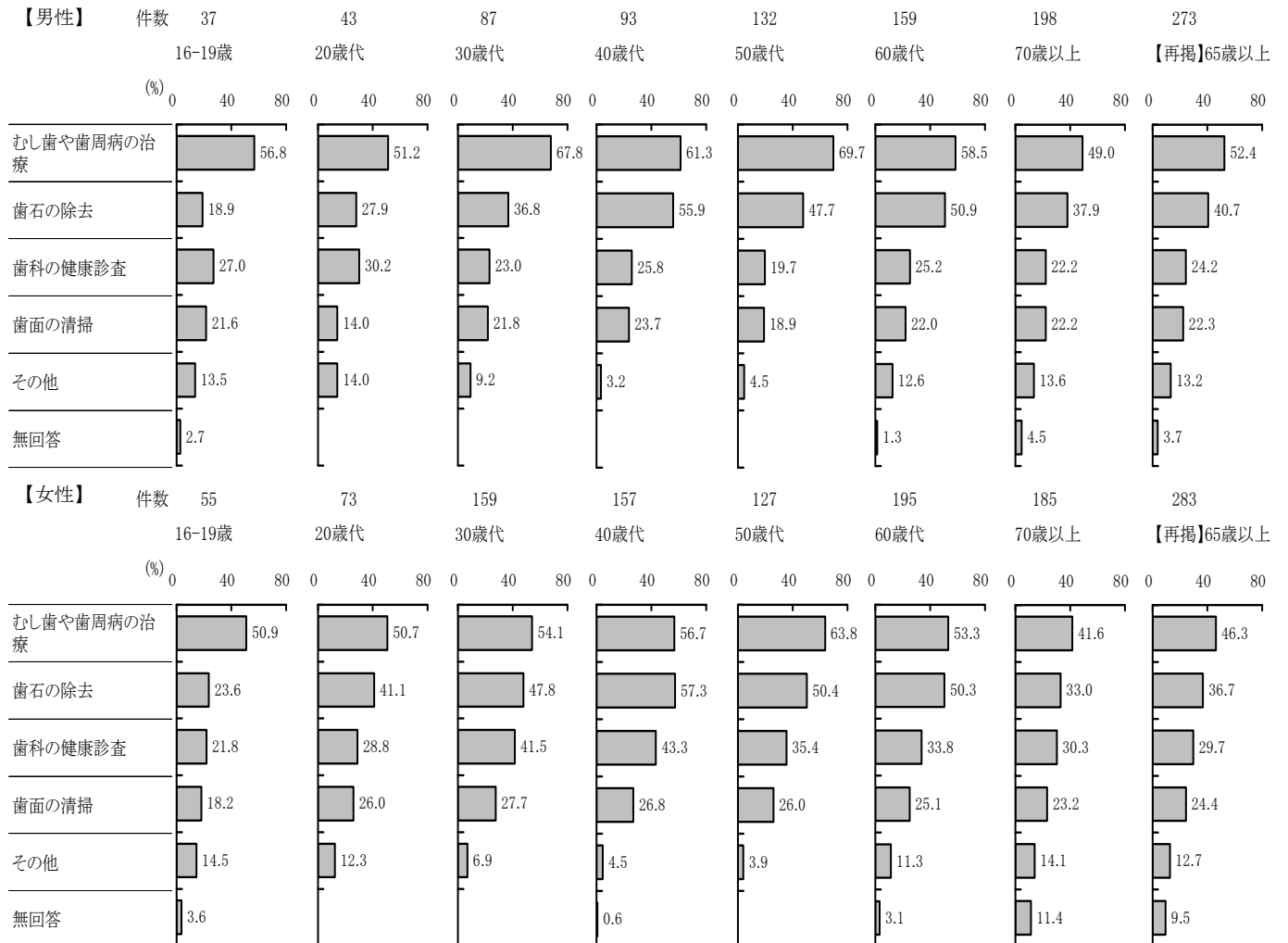


問34-1 歯科医院の受診理由(年齢別)



- 性・年齢別で見ると、「むし歯や歯周病の治療」は、男性の30歳代、50歳代で高くなっている。「歯石の除去」は男女ともに40歳代で高く、「歯科の健康診査」は女性の30歳代、40歳代で高くなっている。

問34-1 歯科医院の受診理由（性・年齢別）

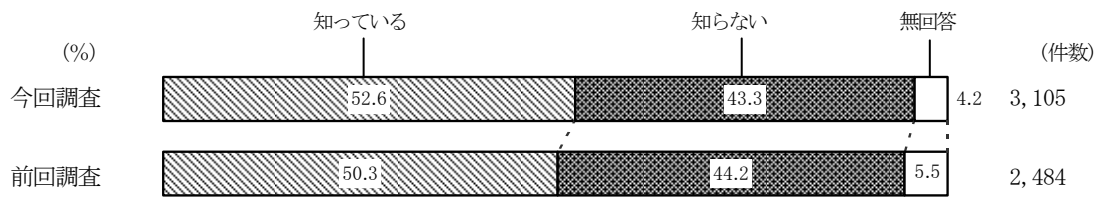


## 49 「8020運動」の周知度

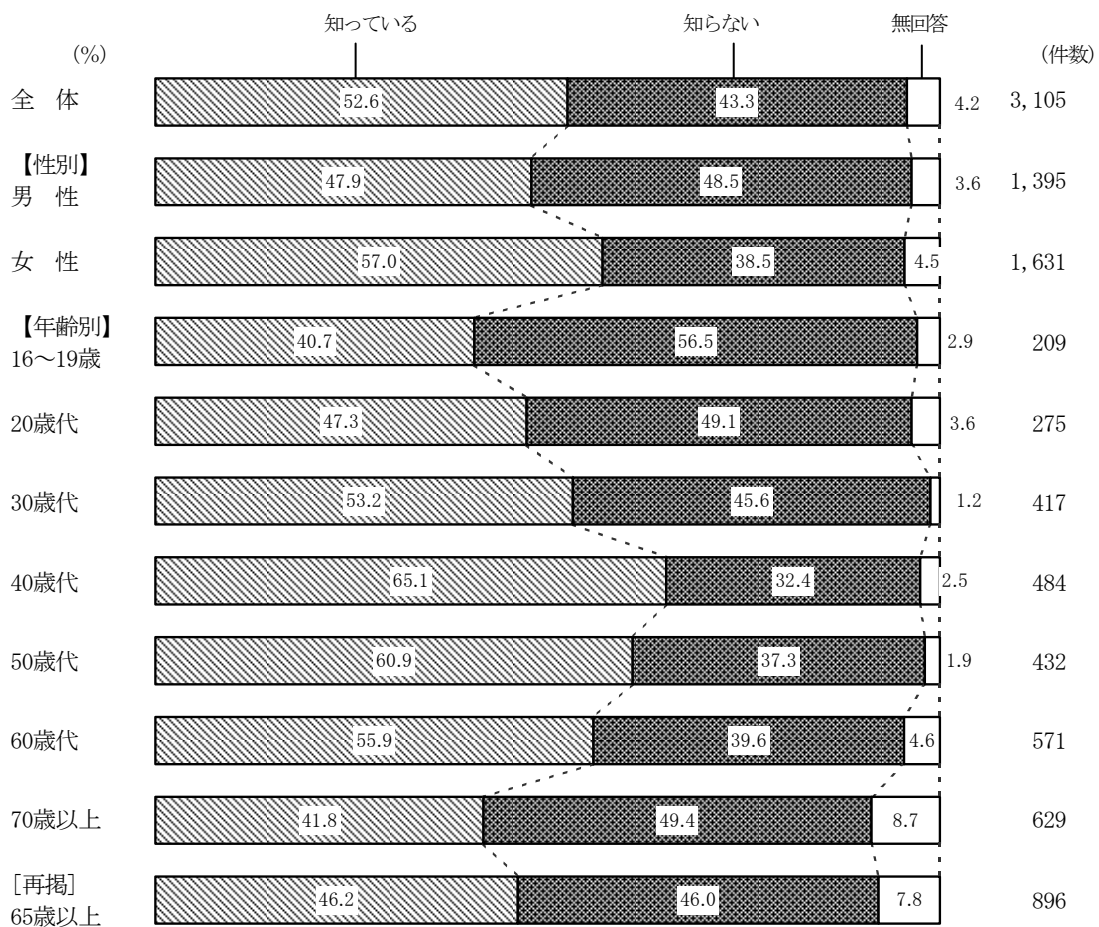
問35 あなたは、8020（ハチマルニイマル）運動を知っていますか。（1つだけ）

- 『8020運動』の周知については、5割以上の方が「知っている」（52.6%）と回答している。
- 前回調査と比較すると、「知っている」人の割合は、前回調査の50.3%から今回調査は52.6%と2.3ポイント増加している。
- 性別で見ると、「知っている」人は、男性（47.9%）よりも女性（57.0%）で高くなっている。
- 年齢別で見ると、「知っている」人は、40歳代（65.1%）が最も高く、次いで50歳代（60.9%）が高くなっている。一方、「知らない」人は、16～19歳と70歳以上での割合が高くなっている。

問35 「8020運動」の周知度（前回調査との比較）



問35 「8020運動」の周知度（全体・性別・年齢別）



- 性・年齢別で見ると、『8020運動』を「知っている」人は、女性の40歳代（70.7%）、50歳代（66.8%）で高く、「知らない」人は、男性の30歳代以下と70歳以上、女性の16～19歳で5割以上となっている。

